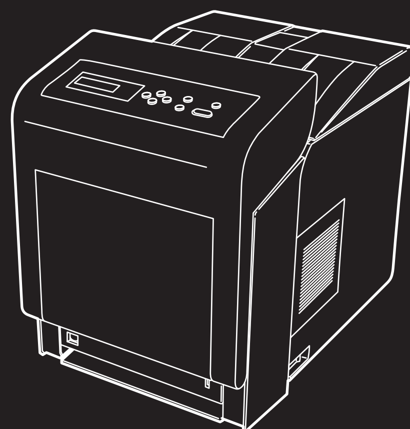
KYOCERA

使用説明書

FS-C5200DN

FS-C5300DN



ご使用前に必ずこの使用説明書をお読みください。
お読みになった後は、本製品の近くに大切に保管してください。

はじめに

FS-C5200DN/FS-C5300DN をご購入いただきまして誠にありがとうございます。

この使用説明書は、本機を良好な状態でご使用いただくために、正しい操作方法・日常の手入れおよび簡単なトラブルの処置などができるようにまとめたものです。

目次

安全に正しくお使いいただくために

本機をご使用になる前に、まず最初にお読みください。ここでは次の内容を説明しています。

法律上のご注意

本製品の省エネ制御機能について

本製品は、待機中の消費電力を削減するために、最後に機器を使用してから一定時間経過すると自動的に消費電力を低減する「低電力モード」に移行し、さらに設定時間以上機器を使用しないと自動的に消費電力を最小にする「スリープ」に移行する省エネ制御機能を備えています。

「低電力モード」

最後に使用してから 10 分を経過しますと自動的に「低電力モード」に移行します。

「スリープ」

最後に使用してから 15 分を経過しますと自動的に「スリープ」に移行します。なお「スリープ」への移行時間は、延長が可能です。詳しくは、**使用説明書 応用編 「スリープジカン」（スリープ（待機）時間の設定）**を参照してください。

自動両面印刷機能について

本製品は、標準で用紙の両面に印刷できる機能を備えています。例えば、片面原稿 2 ページを 1 枚の用紙に両面印刷することで、紙の使用量を軽減できます。詳しくは、**使用説明書 応用編**を参照してください。

再生紙

本製品は、環境への負荷の少ない再生紙を使用できます。推奨紙などは京セラミタジャパン株式会社正規特約店、またはお客様相談窓口へご相談ください。

国際エネルギースター（ENERGY STAR®）プログラム



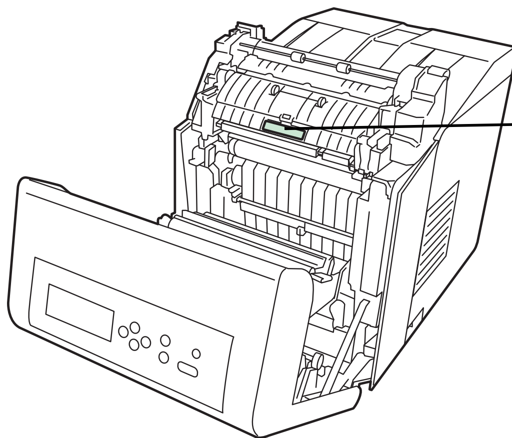
当社は、国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。

⚠ 注意ラベルについて

本製品には、下記に示す位置に安全に関する注意ラベルを貼っています。紙づまり処置時に、火傷などの事故のないようご注意ください。

レーザー光に関する警告（本体内部）

DANGER ・CLASS 3B INVISIBLE LASER RADIATION WHEN OPEN. AVOID DIRECT EXPOSURE TO BEAM.
ATTENTION ・CLASE 3B RAYONNEMENT LASER INVISIBLE EN CAS D'OUVERTURE. EXPOSITION DANGEREUSE AU FAISCEAU.
VORSICHT ・KLASSE 3B UNSICHTBARE LASERSTRAHLUNG, WENN ABDECKUNG GEÖFFNET. NICHT DEM STRAHL AUSSETZEN.
ATTENZIONE ・CLASSE 3B RADIAZIONE LASER INVISIBILE IN CASO DI APERTURA. EVITARE L'ESPOSIZIONE AL FASCIO.
PRECAUCION ・CLASSE 3B RADIACIONE LASER INVISIBLE CUANDO SE ABRE. EVITAR EXPONERSE AL RAYO.
VARO! ・AVATTAESSA OLET ALTTIINA LUOKAN 3B NÄKYMÄTTÖMÄLLE LASERSÄTEILYLLE. ÄLÄ KATSO SÄTEESEEN.
警告 ・该产品为3B类不可见激光产品，打开盖子后会有激光辐射，请避免光束照射。
警告 ・該產品爲3B類不可見激光產品，打開蓋子後會有激光輻射，請避免光束照射。
위험 ・CLASS 3B 불가시 레이저광선을 직접 보지마십시오.
警告 ・ここを開くとクラス3B不可視レーザー光がでます。ビームを直接見たり、触れないでください。



CAUTION HOT SURFACE
ACHTUNG HEISSE OBERFLÄCHE
ATTENTION TEMPÉRATURE ÉLEVÉE
ATTENCION EXTERIOR CALIENTE
ATTENZIONE SUPERFÍCIE CHE SCOTIA
고온주의 高温注意

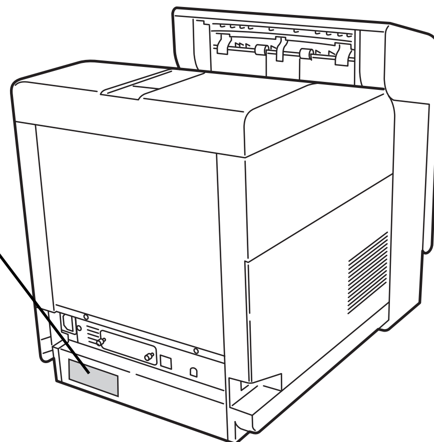
高温注意

この部分は高温になっています。火傷のおそれがありますので、触れないようにしてください。



定格ラベル

一般的な注意と消費電力を表示しています。



FS-C5200DN AC 100V 50/60Hz 10.6A
京セラ ミタ株式会社
注意 CAUTION
修理は、すべてサービス担当者におまかせください。
機械の補修の前に、必ず電源コードを抜いてください。
外装カバーの固定されている部分は、外さないでください。
Refer all servicing in the compartment to qualified service personnel.
Disconnect main power cord before servicing.
Do not remove covering panel.
>ABS<
DESIGNED IN JAPAN / ASSEMBLED IN CHINA

FS-C5300DN AC 100V 50/60Hz 10.6A
京セラ ミタ株式会社
注意 CAUTION
修理は、すべてサービス担当者におまかせください。
機械の補修の前に、必ず電源コードを抜いてください。
外装カバーの固定されている部分は、外さないでください。
Refer all servicing in the compartment to qualified service personnel.
Disconnect main power cord before servicing.
Do not remove covering panel.
>ABS<
DESIGNED IN JAPAN / ASSEMBLED IN CHINA

お願い：これらのラベルははがさないようにしてください。

本書中の注意表示について

この使用説明書及び本製品への表示では、本製品を正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。



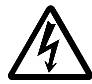
警告：この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



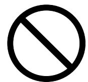
注意：この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示

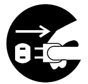
△記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容が描かれています。

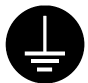
「注意一般」、「感電注意」、「高温注意」

⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中に具体的な禁止内容が描かれています。

「禁止一般」、「分解禁止」

●記号は行為を規制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容が描かれています。

「強制一般」、「電源プラグをコンセントから抜け」、

「必ずアース線を接続せよ」

本製品使用時の汚れなどによって本書の注意・警告事項が判読できない場合や、本書を紛失した場合には、弊社製品取り扱い店等へご連絡の上、新しい使用説明書を入手してください。（有償）

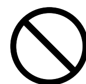
使用説明書の内容は、機械性能改善のために、予告なく変更する場合がありますので御了承ください。

 機械を設置する時のご注意

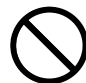
設置環境について



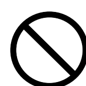
本製品をぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。



本製品を湿気やほこりの多い場所に置かないでください。万一電源プラグにほこりやゴミなどが付着している場合は取り除いてください。火災、感電の原因となることがあります。

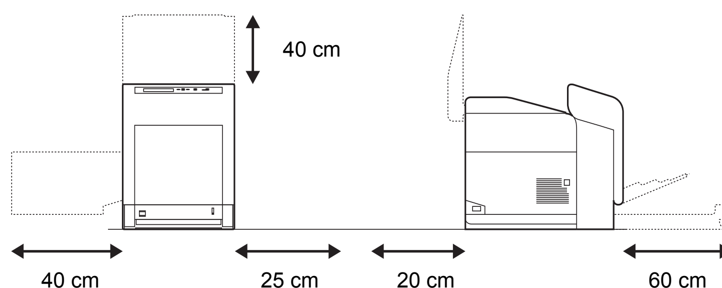


本製品をストーブなどの熱源や可燃物が近くにある場所に置かないでください。火災の原因となることがあります。



本製品の冷却効果を保つため、機械の周辺は下記のスペースを確保してください。壁などに近づけないでください。充分なスペースがないと冷却されず、発熱や性能不良の原因となります。





その他の注意事項

本製品は設置する場所によっては外気条件が加わって、性能が維持できなくなる場合がありますので、常温常湿の室内（室温 23 ℃、湿度 60 %RH が適当）に設置し、下記のような場所は避けてください。

- 窓際など、直射日光の当たる場所や明るい場所
- 振動の多い場所
- 急激に温度や湿度が変化する場所
- 冷暖房の冷風や温風が直接当たる場所
- 通気性、換気性の悪い場所

使用中はオゾンが発生しますが、その量は人体に影響を及ぼさないレベルです。ただし、換気の悪い部屋で長時間使用する場合や大量に印刷をする場合には、臭気が気になることもあります。快適な作業環境を保つためには部屋の換気をすることをお勧めいたします。

設置電源・アースについて





表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。またタコ足配線をしないでください。火災、感電のおそれがあります。

電源プラグはコンセントに確実に差し込んでください。電源プラグの刃に金属などが触れると火災、感電の原因となります。

必ずアース線をアース対象物に接続してください。アース接続がされないで万一、漏電した場合は火災、感電のおそれがあります。なお、アース接続ができない場合は、京セラミタジャパン株式会社正規特約店、または弊社お客様相談窓口へご相談ください。電話番号は最終ページをご覧ください。

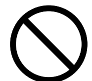
その他の注意事項

電源プラグは製品の近くの容易に接続できるコンセントにつないでください。

ビニールの取り扱いについて



本製品に使っている包装用のビニールを子供に触れさせないでください。ビニールが鼻や口に吸着すると、窒息するおそれがあります。



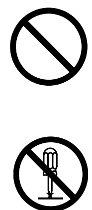
取り扱い上のご注意

機械の取り扱いについて

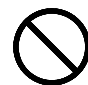


本製品の上に花瓶、植木鉢、コップや水などの入った容器または金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災、感電のおそれがあります。

本製品のカバーは外さないでください。内部には電圧の高い部分があり、感電のおそれがあります。



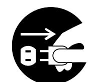
電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また重いものをのせたり、引っぱったり、無理に曲げたりすると電源コードをいため、火災、感電のおそれがあります。



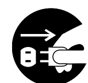
本製品の改造や分解は絶対に行わないでください。火災、感電のおそれがあります。



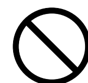
万一、発熱していたり、煙が出ている、へんな臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災、感電のおそれがあります。すぐに電源を切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。そして京セラミタジャパン株式会社正規特約店、または弊社お客様相談窓口へご連絡ください。電話番号は最終ページをご覧ください。



万一、異物（金属片、水、液体）が本製品の内部に入った場合は、まず本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて京セラミタジャパン株式会社正規特約店、または弊社お客様相談窓口へご連絡ください。電話番号は最終ページをご覧ください。そのまま使用すると火災、感電のおそれがあります。



濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電のおそれがあります。

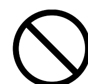


内部の点検・修理は京セラミタジャパン株式会社正規特約店、または弊社お客様相談窓口へ依頼してください。電話番号は最終ページをご覧ください。

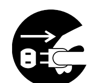


⚠ 注意

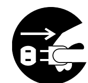
電源プラグをコンセントから抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。電源コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。（必ず電源プラグを持ってコンセントから抜いてください）



本製品を移動させる場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。電源コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。



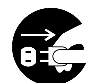
夜間等で長時間本製品をご使用にならない場合は、電源を切ってください。また連休等で長期間、本製品を使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。



本製品を持ち上げたり、動かす場合は、所定の箇所を持つようにしてください。



本製品の清掃を行うときには安全上、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。



本製品内部の清掃については京セラミタジャパン株式会社正規特約店、または弊社お客様相談窓口へご相談ください。本製品の内部にほこりがたまったまま長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、内部清掃費用については京セラミタジャパン株式会社正規特約店、または弊社お客様相談窓口へご相談ください。電話番号は最終ページをご覧ください。



その他の注意事項

本製品の上には重いものをのせたり、衝撃を与えたりしないでください。

印刷中には次のことをしないでください。

- カバー類を開ける。
- 電源を切る。
- 電源コードを抜く。

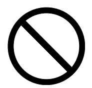
コネクタ、プリント基板等の電気部品に触らないでください。静電気により破損する可能性があります。

本書に記載されていないことは行わないでください。

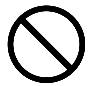
消耗品の取り扱いについて



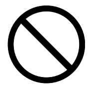
トナーコンテナおよび廃棄トナーボックスは、火中に投じないでください。火花が飛び散り、火傷の原因となることがあります。



トナーコンテナおよび廃棄トナーボックスは、子供の手に触れる事のない様に保管してください。

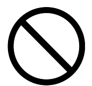


トナーコンテナおよび廃棄トナーボックスより、トナーが漏れた場合には、トナーを吸い込んだり、口に入れたり、眼、皮膚に触れない様にしてください。



- トナーを吸い込んだ場合は、新鮮な空気の場所に移動し、多量の水でよくうがいをしてください。咳などの症状が出るようであれば医師の診察を受けてください。
- トナーを飲み込んだ場合は、口の中をすすぎ、コップ 1、2 杯の水を飲んで胃を薄め、必要に応じて医師の診察を受けてください。
- 眼に入った場合は、直ちに流水で良く洗い、刺激が残るようであれば医師の診察を受けてください。
- 皮膚に触れた場合は、石鹸を使って水で良く洗い流してください。

トナーコンテナおよび廃棄トナーボックスは、無理に開けたり、壊したりしないでください。



その他の注意事項

京セラミタでは環境問題を考慮し、使用済みトナーコンテナの無償回収を実施しています。詳しくは、トナーキットに同梱されている「トナーコンテナ引き取り回収依頼書」または、京セラミタ株式会社のホームページを参照してください。
http://www.kyoceramita.co.jp/support/

トナーコンテナは、直射日光の当たる場所や、急激な温度・湿度の変化がある場所を避けて、40 ℃以下で保管してください。

本製品を長時間使わない場合は、用紙をカセットから取り出し、元の包装紙に戻して密封してください。

補修用性能部品について

弊社の保守サービスのために必要な補修用および消耗品の最低保有期間は、販売終了後 5 年間です。

ご注意

本機を使用した結果の影響については、本書の内容にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

JIS C 61000-3-2 適合品。

本装置は、高調波電流規格「JIS C 61000-3-2」に適合しています。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。使用説明書にしたがって正しい取り扱いをしてください。

本プリンタは仕様の範囲内でご使用ください。保守契約を結ばれることをおすすめします。

商標について

- プリスクライブ、PRESCRIBE、エコシスおよび ECOSYS は、京セラ株式会社の登録商標です。KPDL は京セラ株式会社の商標です。
- 3M は、3M 社の商標です。
- Power PC は IBM 社の米国、その他の国における商標です。
- コンパクトフラッシュはサンディスク社の登録商標です。
- PCL は米国ヒューレット・パッカード社の登録商標です。
- Microsoft、MS-DOS、Windows は、Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。Windows NT は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標です。
- TrueType は、米国 Apple Computer, Inc. の登録商標です。
- Adobe Acrobat、Adobe Reader、PostScript は Adobe Systems, Incorporated（アドビシステムズ社）の商標です。
- 本製品はウインドリバーシステムズ社のリアルタイム OS 統合環境 Tornade™ を用いて開発されました。
- その他、本書中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

フォントの商標について

- 本プリンタに搭載されている欧文フォントは、すべて Monotype Imaging Inc. からのライセンスを受けています。
- 本製品は Monotype Imaging Inc. からの UFST™ MicroType® のフォントを搭載しています。
- Times は Linotype-Hell AG の登録商標です。
- DFHSGOTHIC-W5 と DFHSMINCHO-W3 は平成書体です。これらの書体は（財）日本規格協会と京セラミタ株式会社がフォント使用契約を締結して使用しているものです。フォントとして無断複製することは禁止されています。
- 平成書体は財団法人日本規格協会を中心に製作グループが共同開発したものです。許可なく複製する事はできません。
- TypeBankG-B、TypeBankM-M および TypeBank-OCR はタイプバンク ® の商標です。

Monotype Imaging ライセンス契約

1. 「本件ソフトウェア」とは、特殊なフォーマットで符号化された、デジタル符号の機械読取可能なスケーラブル・アウトライン・データならびに UFST ソフトウェアを意味するものとします。
2. お客様は、お客様自身の通常の業務目的または個人的な目的で、アルファベット、数字、文字および記号（「タイプフェース」）のウェート、スタイルおよびバージョンを複製および表示するために本件ソフトウェアを使用する非独占的ライセンスを受諾することに同意します。Monotype Imaging は、本件ソフトウェアおよびタイプフェースに関するすべての権利、権原および利権を留保します。本契約において明示的に規定した条件に基づき本件ソフトウェアを使用するライセンス以外には、いかなる権利もお客様に許諾されません。
3. Monotype Imaging の財産権を保護するため、お客様は本件ソフトウェアおよびタイプフェースに関するその他の財産的情報を極秘に保持すること、また、本件ソフトウェアおよびタイプフェースへのアクセスとその使用に関する合理的な手続きを定めることに同意します。
4. お客様は本件ソフトウェアまたはタイプフェースを複製またはコピーしないことに同意します。
5. このライセンスは、早期終了しない限り、本件ソフトウェアおよびタイプフェースを使用し終わるまで存続するものとします。お客様が本契約ライセンスの条件の遵守を怠り、当該不履行が Monotype Imaging からの通知後 30 日以内に是正されなかったときは、Monotype Imaging は本ライセンス契約を解除することができます。本ライセンス契約が満了するか、または解除された時点で、お客様は要求に応じて本件ソフトウェアとタイプフェースの複製物ならびに文書をすべて Monotype Imaging に返却するか、または破棄するものとします。
6. お客様は、本件ソフトウェアの変更、改変、逆アセンブル、解読、リバースエンジニアリングまたは逆コンパイルを行わないことに同意します。
7. Monotype Imaging は、引渡し後 90 日間について、本件ソフトウェアが Monotype Imaging の発表した仕様に従って作動すること、欠陥がないことを保証します。Monotype Imaging は、本件ソフトウェアにバグ、エラーおよび脱落が一切ない旨の保証を行いません。

8. 当事者は、特定目的適合性および商品性の保証を含む明示または黙示の他のすべての保証が排除されることに合意します。
9. 本件ソフトウェアおよびタイプフェースに関するお客様の排他的救済手段および Monotype Imaging の唯一の責任は、欠陥のある部品を Monotype Imaging に返却した時点で修理または交換することです。
10. いかなる場合も Monotype Imaging は、本件ソフトウェアおよびタイプフェースの誤用または不正使用により引き起こされた喪失利益、喪失データ、またはその他の付随的損害、派生的損害その他の損害について責任を負いません。
11. 本契約はアメリカ合衆国マサチューセッツ州の法律に準拠します。
12. お客様は、Monotype Imaging の事前の書面による同意がない限り、本件ソフトウェアおよび / またはタイプフェースの再使用許諾、販売、リースまたはその他の方法による譲渡を行ってはなりません。
13. 政府による使用、複製または開示は、FAR252-227-7013「技術データおよびコンピュータソフトウェアに関する権利」の（b）（3）（ii）項または（c）（1）（ii）項に定められた制限を受けます。さらに、使用、複製または開示は、FAR52. 227-19 （c）（2）項に定められたソフトウェアの限定的権利に適用される制限を受けます。
14. お客様は、本契約を自ら読了し、了解したことを認め、また本契約の諸条件により拘束されることに同意します。いずれの当事者も、本契約に記載されていない言明または表明により拘束されないものとします。本契約の変更は、各当事者の正当な権限を有する代表者が署名した書面による場合を除き、効力は一切ありません。

OpenSSL ライセンス

以下は英語の原文です。

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgment: “This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (http://www.openssl.org/)”
4. The names “OpenSSL Toolkit” and “OpenSSL Project” must not be used to endorse or promote products derived from this software without prior written permission.For written permission, please contact openssl-core@openssl.org.
5. Products derived from this software may not be called “OpenSSL” nor may “OpenSSL” appear in their names without prior written permission of the OpenSSL Project.
6. Redistributions of any form whatsoever must retain the following acknowledgment: “This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit (http://www.openssl.org/)”

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OpenSSL PROJECT “AS IS” AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE OpenSSL PROJECT OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

オリジナル SSLeay ライセンス

以下は英語の原文です。

This package is an SSL implementation written by Eric Young (eay@cryptsoft.com). The implementation was written so as to conform with Netscapes SSL.

This library is free for commercial and non-commercial use as long as the following conditions are aheared to. The following conditions apply to all code found in this distribution, be it the RC4, RSA, lhash, DES, etc., code; not just the SSL code. The SSL documentation included with this distribution is covered by the same copyright terms except that the holder is Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

Copyright remains Eric Young's, and as such any Copyright notices in the code are not to be removed.

If this package is used in a product, Eric Young should be given attribution as the author of the parts of the library used.

This can be in the form of a textual message at program startup or in documentation (online or textual) provided with the package.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement: "This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com)" The word 'cryptographic' can be left out if the rouines from the library being used are not cryptographic related :-).
4. If you include any Windows specific code (or a derivative thereof) from the apps directory (application code) you must include an acknowledgement: "This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com)"

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

The licence and distribution terms for any publically available version or derivative of this code cannot be changed. i.e. this code cannot simply be copied and put under another distribution licence [including the GNU Public Licence.]

本機の特長

本機は次の特長を備えています。

概要

高速印刷

A4 でカラー / モノクロともに、FS-C5200DN は 1 分間に 21 枚、FS-C5300DN は 1 分間に 26 枚の印刷が可能です（実際の印刷時間は、印刷の内容によって変わります）。

階調モードによる高品位のカラー印刷

1 ピクセル当たりの階調が 4 bpp の高画質モードで印刷できます。

多彩な用紙種類に印刷可能

普通紙はもちろん、OHP フィルムやラベル用紙、その他の特殊用紙にも印刷できます。

オートスリープ

一定の時間内に操作やデータの受信が行われなかった場合、消費電力を抑えるオートスリープを搭載しています。

ハードウェア

USB（Universal Serial Bus）インタフェース

Hi-Speed USB に準拠した USB インタフェースを装備しています。480 Mbps の最大通信速度で、高速データ転送を行います。

USB メモリスロット

USB メモリをプリンタに装着できます。メモリ内の文書ファイル（PDF、TIFF、JPEG、XPS）を、操作パネルから選択して読み込めます。

ハードウェア拡張スロット（FS-C5300DN）

拡張スロットを装備し、ハードディスクをプリンタに追加できます。ハードディスクにオプションフォント、マクロ、フォームなどを保存できます。

メモリカード（コンパクトフラッシュカード）スロット

メモリカードをプリンタに装着できます。メモリカードにオプションフォント、マクロ、フォームなどを保存できます。

大容量給紙カセット

給紙カセットには約 500 枚の用紙を収納できます。また手差しトレイには約 150 枚の用紙を収納できます。

ソフトウェア

Job Box 機能

Job Box は、ジョブリテンション機能を実現します。

用紙の自動選択（メディアタイプセレクション）機能

印刷する用紙の種類（普通紙、OHP フィルム、ラベル用紙など）を、あらかじめ各給紙元に設定しておくことで、印刷時に指定した用紙の種類を自動的に選択して印刷できます。

プリスクライブコマンド

グラフィック機能がより強化されたページプリンタ制御言語プリスクライブコマンドを内蔵しています。マージン設定や文字間隔、行間隔の変更、アウトラインフォント、図形に対しての回転、塗りつぶしなどを簡単なコマンドで実現します。

PDF ダイレクトプリント機能（KM-NET for Direct Printing）

Adobe Acrobat/Adobe Reader などのアプリケーションを起動しなくても、PDF（Portable Document Format）ファイルを直接印刷できます。

部門管理機能

本機には、部門管理機能が搭載されています。この機能は、部門ごとの印刷ページ数を記録したり、印刷できるページ数を部門ごとにプリンタに設定できる機能で、操作パネルから行えます。詳しくは、お買い求めの京セラミタジャパン株式会社正規特約店、または弊社お客様相談窓口にご連絡ください。電話番号は最終ページを参照してください。

ネットワーク機能

ネットワークインタフェース

TCP/IP、NetWare、AppleTalk、IPP、SSL サーバ、IPSec プロトコルとセキュリティレベルをサポートしていますので、Windows、Macintosh、UNIX、NetWare などさまざまな環境下で、ネットワーク印刷が可能になります。

本機は SNMP と互換性があり、ホスト PC との各種情報のやり取りが可能です。

使用説明書について

本書は次の章で構成されています。

1　各部の名称

本体各部の名称と操作パネルのキー名称・インジケータ名称を説明しています。

2　使用前の準備

ネットワークで使用する場合に必要な設定、ドライバのインストールについて説明しています。

3　日常のメンテナンス

用紙の補給、トナーコンテナの交換方法、本機の清掃について説明しています。

4　困ったときは

エラーが表示されたときや紙づまりなど、トラブルが発生したときの対処方法を説明しています。

付録

本機のオプション品、仕様を説明しています。

付属マニュアルの紹介

本機には、次のマニュアルがあります。必要に応じて参照してください。

使用説明書（本書）

本機の用紙の補給方法、各種のトラブルの対処方法について説明しています。

インストールガイド

本機の設置手順を説明しています。

日常のお手入れ

トナーコンテナの交換、お手入れ、印刷中に表示されるエラーメッセージと紙づまりへの対処のしかたなどを説明しています。

使用説明書 応用編（CD-ROM 収録）

プリンタ機能の詳細、各種の初期設定について説明しています。

プリスクライブコマンド・リファレンスマニュアル（CD-ROM 収録）

本機の制御言語であるプリスクライブコマンドを使用して、印刷を行うためのプログラミング方法や、各コマンドについて説明しています。

KX プリンタドライバ操作手順書（CD-ROM 収録）

KX プリンタドライバの操作方法について説明しています。

KM-NET for Direct Printing 操作手順書（CD-ROM 収録）

Adobe Acrobat/Adobe Reader を起動せずに、PDF ファイルを印刷する方法について説明しています。

京セラ COMMAND CENTER 操作手順書（CD-ROM 収録）

Web ブラウザを介して、PC 上からプリンタの状態を確認したり、設定を変更したりする方法について説明しています。

本書の読みかた

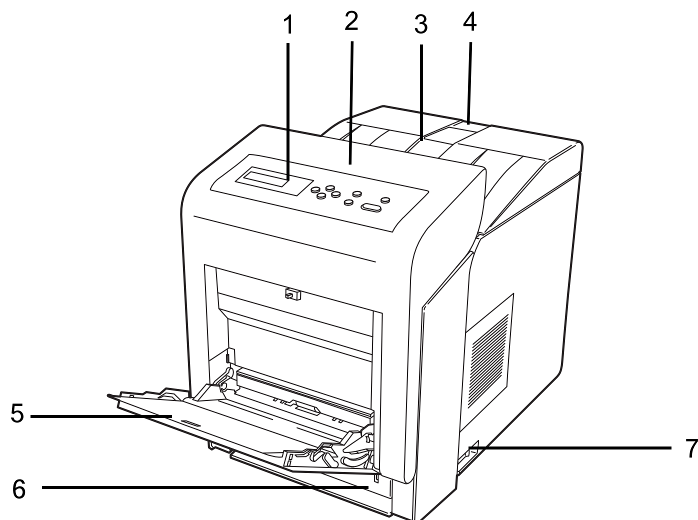
本書中では説明の内容によって、次のように表記しています。

表記	説明	表記例
［太字］	操作パネル上のキーとインジケータを示します。	**［メニュー］**キーを押してください。
「太字」	メッセージディスプレイに表示されるメッセージを示します。	**「プリント デキマス」**が表示されます。
太字	製品の名称、ソフトウェアの操作画面上に表示するボタンなどの名称を示します。	**KX プリンタドライバ操作手順書**を参照してください。 **OK** をクリックしてください。
参考	補足説明や操作の参考となる情報です。	**参考**：トナーコンテナの交換は、プリンタの電源を入れたまま行えます。
重要	トラブルを防止するために、必ず守っていただきたい事項や禁止事項です。	**重要**：つまった用紙を取り除く際は、プリンタ内に紙片を残さないようご注意ください。

1　各部の名称

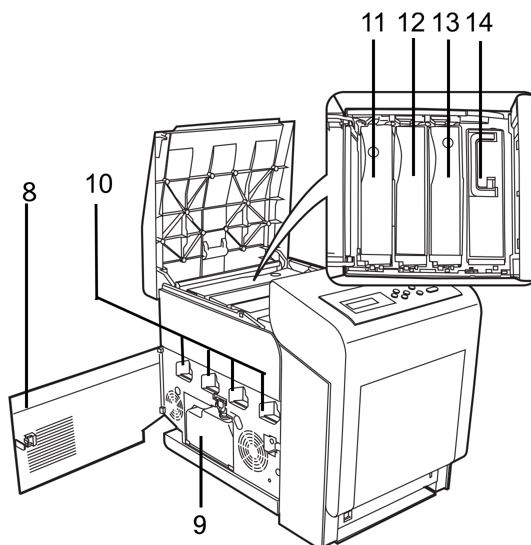
この章では、本体の各部と操作パネルの名称を説明します。

プリンタ前面



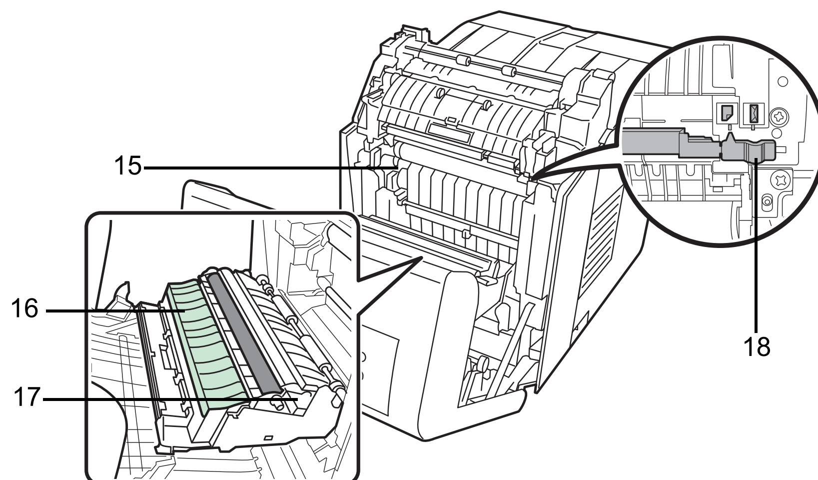
1　操作パネル
2　前カバー
3　上トレイ（上カバー）
4　排紙ストッパ
5　手差しトレイ
6　給紙カセット
7　電源スイッチ

プリンタ側面



8　左カバー
9　廃棄トナーボックス
10　メインチャージャ
11　マゼンタ（M）のトナーコンテナ
12　シアン（C）のトナーコンテナ
13　イエロー（Y）のトナーコンテナ
14　ブラック（K）のトナーコンテナ

プリンタ内部



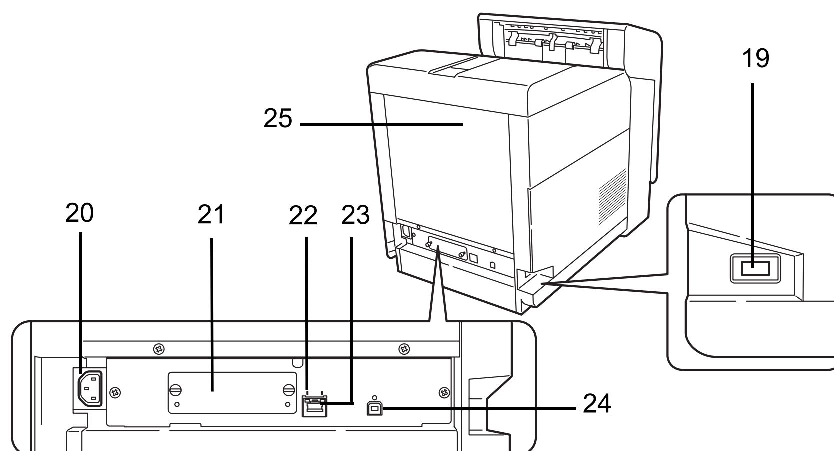
15　搬送ユニット

16　ペーパーランプ

17　両面ユニット

18　封筒スイッチ

プリンタ背面 / 側面



19　USB メモリスロット

20　電源コードコネクタ

21　ハードウェア拡張スロット

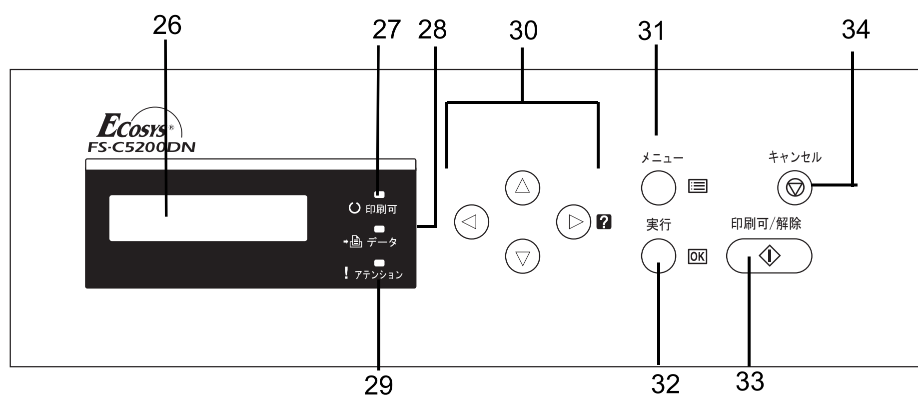
22　ネットワークインジケータ

23　ネットワークインタフェースコネクタ

24　USB インタフェースコネクタ

25　後カバー

操作パネル



26 メッセージディスプレイ

27 ［印刷可］インジケータ

28 ［データ］インジケータ

29 ［アテンション］インジケータ

30 矢印キー

31 ［メニュー］キー

32 ［実行］キー

33 ［印刷可 / 解除］キー

34 ［キャンセル］キー

2　使用前の準備

この章では、本機をネットワークで使用する前に必要な設定と、プリンタドライバのインストールについて説明します。

ネットワークの設定

本機は TCP/IP、TCP/IP（IPv6）および NetWare、AppleTalk、IPP、SSL サーバ、IPSec プロトコルとセキュリティレベルに対応しております。（詳しくは、**使用説明書 応用編**を参照してください。）

TCP/IP、TCP/IP（IPv6）の設定

1 ［**メニュー**］キーを押してください。

2 「**ネットワーク ＞**」が表示されるまで、［△］または［▽］キーを押してください。

```
ネットワーク                >
```

3 ［▷］キーを押してください。［△］または［▽］キーを押すごとに、次のように表示が変わります。次の説明を参考にして設定を行ってください。

```
>TCP/IP
  オフ
```



「TCP/IP 」で Windows ネットワークなどに接続する場合は「**オン**」を選択してください。サブメニューでは、「DHCP」、「IP アドレス」、「サブネットマスク」、「デフォルトゲートウェイ」、「Bonjour」の各設定ができます。

```
>TCP/IP (IPv6)
  オフ
```

「TCP/IP (IPv6)」で Windows ネットワークなどに接続する場合は「**オン**」を選択してください。サブメニューでは、「RA(Stateless)」および「DHCPv6」の設定ができます。

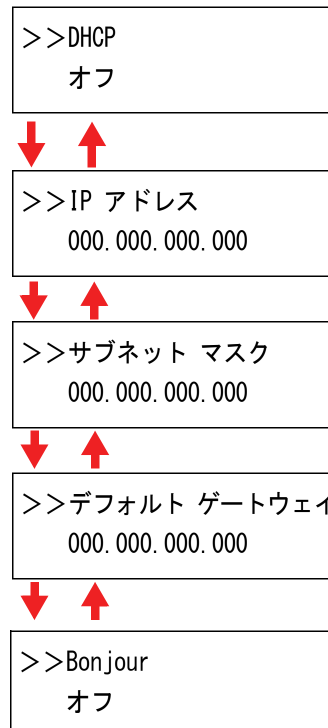
TCP/IP の場合

1 TCP/IP プロトコルを有効にする手順を説明します。

「**TCP/IP**」が「**オフ**」の場合は、［△］または［▽］キーで「**オン**」を選択して、［**実行**］キーを押してください。

```
>TCP/IP                    >
  オン
```

2 ［▷］キーを押してください。［△］または［▽］キーを押すごとに次のように表示が変わります。



3 設定する項目を表示させ［**実行**］キーを押してください。「DHCP」や「Bonjour」を設定中は、「？」が点滅します。「**IP アドレス**」や「**サブネット マスク**」、「**デフォルト ゲートウェイ**」の設定中は、カーソル（_）が点滅します。

>>サブネット マスク
000.000.000.000

4 「DHCP」や「Bonjour」の設定は、［△］または［▽］キーで「**オン**」または「**オフ**」を選択してください。

「**IP アドレス**」や「**サブネット マスク**」、「**デフォルト ゲートウェイ**」の設定は、［△］または［▽］キーで、カーソルが点滅している場所の数字（000 から 255）を変更してください。［◁］または［▷］キーを使ってカーソルを左右に移動させることができます。

参考：設定するネットワークアドレスは、ネットワーク管理者に確認してください。

5 ［**実行**］キーを押してください。

6 ［**メニュー**］キーを押してください。メッセージディスプレイは「**プリント デキマス**」に戻ります。

TCP/IP（IPv6）の場合

1 TCP/IP（IPv6）プロトコルを有効にする手順を説明します。

>TCP/IP（IPv6） >
オン

「TCP/IP（IPv6)」が「**オフ**」の場合は、[△] または [▽] キーで「**オン**」を選択して、[**実行**] キーを押してください。

2 [▷] キーを押してください。[△] または [▽] キーを押すごとに次のように表示が変わります。

```
>>RA(Stateless)
  オフ
```



```
>>DHCPv6
  オフ
```

3 設定する項目を表示させ [**実行**] キーを押してください。「RA(Stateless)」および「DHCPv6」を設定中は、「**?**」が点滅します。

```
>>RA(Stateless)
?  オン
```

4 「RA(Stateless)」および「DHCPv6」の設定は、[△] または [▽] キーで「**オン**」または「**オフ**」を選択してください。

参考：設定するネットワークアドレスは、ネットワーク管理者に確認してください。

5 [**実行**] キーを押してください。

6 [**メニュー**] キーを押してください。メッセージディスプレイは「**プリント デキマス**」に戻ります。

NetWare、AppleTalk、IPP、SSL サーバ、IPSec、セキュリティレベルの設定

1 [**メニュー**] キーを押してください。

2 「**セキュリティ　>**」が表示されるまで、[△] または [▽] キーを押してください。

```
セキュリティ          >
```

3 [▷] キーを押してください。[△] または [▽] キーを押すごとに、次のように表示が変わります。次の説明を参考にして設定を行ってください。

```
ＩＤ
＿
```



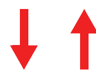
「NetWare」、「AppleTalk」、「IPP」、「SSL サーバ」、「IPSec」でネットワークに接続する場合は、管理者 ID の入力が必要です。工場出荷時は、モデル名（数字）となっています。例えば、FS-C5300DN の場合、「5300」となります。詳しくは、**使用説明書 応用編「カンリシャ」（管理者の設定）**を参照してください。

```
パスワード
＿
```



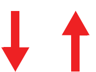
「NetWare」、「AppleTalk」、「IPP」、「SSL サーバ」、「IPSec」でネットワークに接続する場合は、管理者パスワードの入力が必要です。工場出荷時は、モデル名（数字）となっています。例えば、FS-C5300DN の場合、「5300」となります。詳しくは、**使用説明書 応用編「カンリシャ」（管理者の設定）**を参照してください。

```
>NetWare        >
 オフ
```



「NetWare」ネットワークに接続する場合は**「オン」**を選択してください。サブメニューで、フレームタイプを**「ジドウ」**、「802.3」、「Ethernet-II」、「SNAP」と「802.2」から選択できます。

```
>AppleTalk
 オフ
```



「AppleTalk」ネットワークに接続する場合は**「オン」**を選択してください。

```
>IPP
 オフ
```



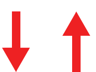
「IPP」ネットワークに接続する場合は**「オン」**を選択してください。

```
>SSLサーバ       >
 オフ
```



「SSL サーバ」ネットワークに接続する場合は**「オン」**を選択してください。サブメニューでは、「DES」、「3DES」、「AES」、「IPP over SSL」と「HTTPS」の設定ができます。

```
>IPSec
 オフ
```



「IPSec」ネットワークに接続する場合は**「オン」**を選択してください。

```
>セキュリティ レベル
 タカイ
```

セキュリティレベル**「タカイ」**を選択してください。

NetWare の場合

1　NetWare を有効にする手順を説明します。

管理者 ID とパスワードを入力後、「NetWare」が**「オフ」**の場合は、［△］または［▽］キーで**「オン」**を選択して、［**実行**］キーを押してください。

```
>NetWare        >
  オン
```

2　［▷］キーを押してください。

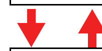
```
>>フレームタイプ
   ジドウ
```

3　［**実行**］キーを押してください。**「？」**が点滅します。［△］または［▽］キーを押すごとに次のように表示が変わります。

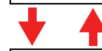
```
>>フレームタイプ
  ?ジドウ
```



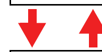
```
>>フレームタイプ
  ?802.3
```



```
>>フレームタイプ
  ?Ethernet-II
```



```
>>フレームタイプ
  ?802.2
```



```
>>フレームタイプ
  ?SNAP
```

4　設定する項目を表示させ［**実行**］キーを押してください。

5　［**メニュー**］キーを押してください。メッセージディスプレイは**「プリント デキマス」**に戻ります。

AppleTalk の場合

1　AppleTalk を有効にする手順を説明します。

管理者 ID とパスワードを入力後、「AppleTalk」が**「オフ」**の場合は、［△］または［▽］キーで**「オン」**を選択してください。

```
>AppleTalk
  オン
```

2 ［実行］キーを押してください。「？」が点滅します。

```
>AppleTalk
 ?オン
```

3 ［実行］キーを押してください。

4 ［メニュー］キーを押してください。メッセージディスプレイは「プリント デキマス」に戻ります。

IPP の場合

1 IPP を有効にする手順を説明します。

管理者 ID とパスワードを入力後、「IPP」が「オフ」の場合は、［△］または［▽］キーで「オン」を選択してください。

```
>IPP
 オン
```

2 ［実行］キーを押してください。「？」が点滅します。

```
>IPP
 ?オン
```

3 ［実行］キーを押してください。

4 ［メニュー］キーを押してください。メッセージディスプレイは「プリント デキマス」に戻ります。

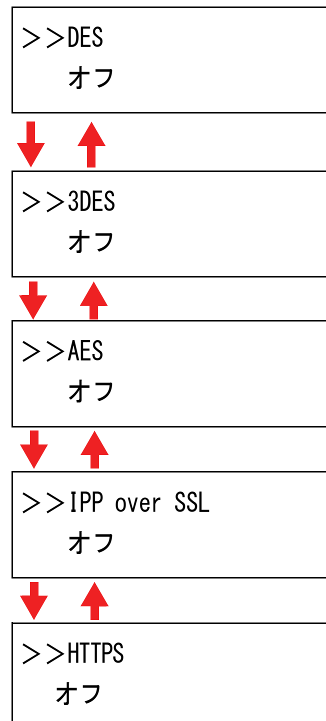
SSL サーバの場合

1 SSL サーバを有効にする手順を説明します。

管理者 ID とパスワードを入力後、「SSL サーバ」が「オフ」の場合は、［△］または［▽］キーで「オン」を選択して、［実行］キーを押してください。

```
>SSLサーバ          >
 オン
```

2 [▷] キーを押してください。[△] または [▽] キーを押すごとに次のように表示が変わります。



3 設定する項目を表示させ［**実行**］キーを押してください。「**?**」が点滅します。

＞＞DES
?オフ

4 [△] または [▽] キーで「**オン**」または「**オフ**」を選択してください。

5 ［**実行**］キーを押してください。

6 ［**メニュー**］キーを押してください。メッセージディスプレイは「**プリント デキマス**」に戻ります。

IPSec の場合

1 IPSec を有効にする手順を説明します。

管理者 ID とパスワードを入力後、「**IPSec**」が「**オフ**」の場合は、[△] または [▽] キーで「**オン**」を選択してください。

＞IPSec
オン

2 ［**実行**］キーを押してください。「**?**」が点滅します。

＞IPSec
?オン

3 ［**実行**］キーを押してください。

4 ［**メニュー**］キーを押してください。メッセージディスプレイは「**プリント デキマス**」に戻ります。

セキュリティ レベルの場合

「セキュリティ レベル」（セキュリティ レベルの設定）は、主にサービス担当者がメンテナンスするために操作するメニューです。お客様が操作をする必要はありません。

```
>セキュリティ レベル
 タカイ
```

ネットワークステータスページの印刷

ネットワークの設定後、ネットワークステータスページを印刷してください。ネットワークステータスページでは、ネットワークアドレス、ネットワークプロトコル等の情報を確認できます。

「チョウセイ / メンテナンス」（調整 / メンテナンスの選択・設定）

調整 / メンテナンスの選択・設定では、印刷品質に関する調整や本機のメンテナンスを行います。

調整 / メンテナンスの選択・設定には以下の項目があります。

- 「カラー チョウセイ ノ ジッコウ」（カラー調整）
- 「カラー イチ ホセイ ヒョウジュン」（カラー印刷位置の補正（標準））
- 「カラー イチ ホセイ ショウサイ」（カラー印刷位置の補正（詳細））
- 「プリンタ ノ サイキドウ」（プリンタの再起動）
- 「サービス」（保守・点検用）

注意：「サービス」は、主にサービス担当者がメンテナンスのために操作するメニューです。お客様が操作をする必要はありません。

1 ［**メニュー**］キーを押してください。

2 **「チョウセイ / メンテナンス＞」**が表示されるまで、［△］または［▽］キーを押してください。

チョウセイ/メンテナンス＞

3 **「チョウセイ / メンテナンス＞」**表示中に［▷］キーを押してください。

4 **「＞サービス＞」**が表示されるまで、［△］または［▽］キーを押してください。

5 **「＞サービス＞」**表示中に［▷］キーを押してください。

6 **「＞＞ネットワーク ステータス ノ インサツ」**が表示されるまで、［△］または［▽］キーを押してください。

7 ［**実行**］キーを押してください。**「？」**が表示されます。

＞＞ネットワーク ステータス ノ
インサツ？

8 ［**実行**］キーを押してください。**「データ　ショリチュウデス」**が表示され、ステータスページが印刷されます。

9 終了すると、メッセージディスプレイは**「プリント デキマス」**に戻ります。

プリンタドライバのインストール

インストールガイドに従って本機に PC と電源を接続し、プリンタドライバをインストールします。プリンタドライバは、アプリケーションで作成したデータを印刷するために必要です。プリンタドライバの詳細は、CD-ROM 収録の **KX プリンタドライバ操作手順書**を参照してください。

Windows PC へのインストール

本機を Windows PC に接続して使用する場合は、次の手順でプリンタドライバをインストールします。ここでは、Windows Vista にインストールをする例で説明します。

参考：Windows Vista、 Windows XP および Windows 2000 にインストールする場合、管理者権限でログオンする必要があります。

インストール方法は、**高速モード**と**カスタムモード**の 2 種類があります。**高速モード**は、接続されたプリンタを自動的に検出し、必要なソフトウェアをインストールします。**カスタムモード**は、プリンタポートの指定やインストールするソフトウェアを選択する場合に使用します。

1 PC の電源を入れ、Windows を起動します。

新しいハードウェアの検索ウィザードが表示された場合、**キャンセル**をクリックします。

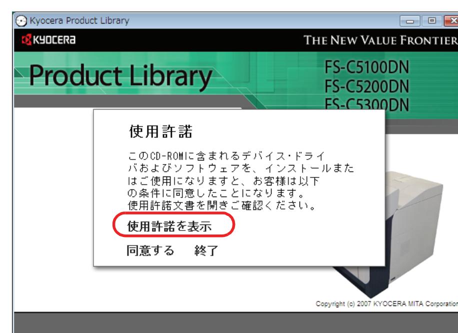
2 付属の CD-ROM（Product Library）を、PC の光学ドライブにセットします。Windows Vista の場合、**ユーザアカウント制御**画面が表示されますので、**許可**をクリックします。

インストールプログラムが起動すると、**メインメニュー**が表示されます。

参考：**ソフトウェアインストールウィザード**が自動で起動しない場合、Windows のエクスプローラで CD-ROM の内容を表示させ、Setup.exe をダブルクリックしてください。

---

3 **使用許諾を表示**をクリックして、使用許諾契約をお読みください。**同意する**をクリックします。

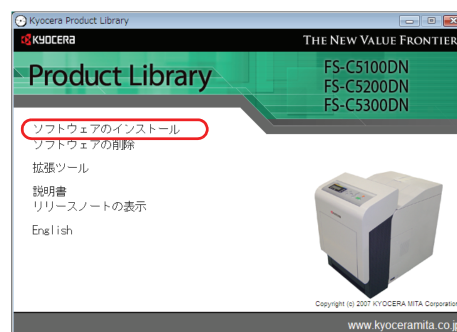


4 **ソフトウェアのインストール**をクリックします。

ソフトウェアインストールウィザードが起動します。**次へ**をクリックします。

この後の手順は、Windows の種類と接続方法によって異なります。該当する手順に進んでください。

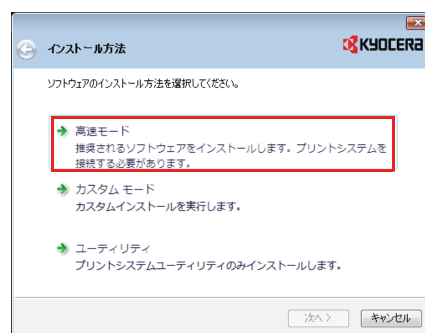
- **高速モード**
- **カスタムモード**



高速モード

高速モードは、電源を入れるとインストーラが自動的にプリンタを検出します。標準的な接続方法の場合、**高速モード**を使用します。

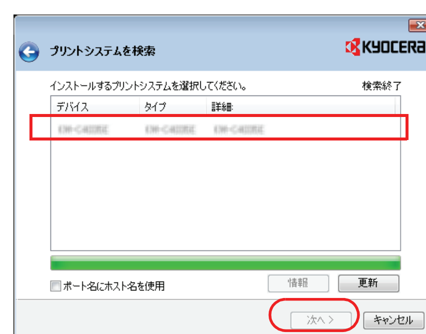
1 **インストール方法の選択**画面で、**高速モード**を選択します。**プリントシステムを検索**画面が表示され、インストーラがプリンタの検出を行います。プリントシステムが検出されない場合、プリントシステムが USB またはネットワークで接続され、電源が入っていることを確認し、**プリントシステムを検索**画面に戻ってください。



参考：Windows Vista と Windows XP では、インストールダイアログボックスに表示される内容は多少異なりますが、インストール手順は同じです。

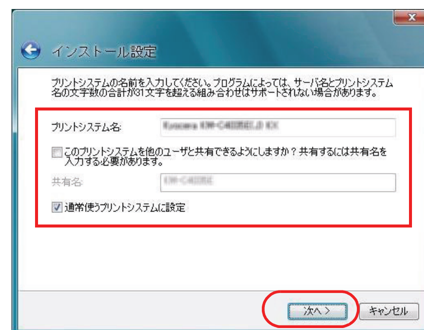
2 インストールするプリントシステムを選択し、**次へ**をクリックします。

参考：**新しいハードウェアの検索ウィザード**が表示された場合、**キャンセル**をクリックしてください。**ハードウェアのインストール**警告ダイアログが表示された場合、**続行**をクリックしてください。



3 **インストール設定**画面では、プリントシステムの名前をカスタマイズできます。これは、**プリンタ**ウィンドウおよび各アプリケーションのプリンター覧に表示される名前です。

プリントシステム名を共有するか、または既定のプリンタとして設定するかを指定し、**次へ**をクリックします。



注意：手順 3 は、ネットワーク接続の場合のみ表示されます。USB 接続では表示されません。

4 設定内容を確認する画面が表示されます。設定を確認し、**インストール**をクリックします。

参考：Windows **セキュリティ画面**が表示された場合、**このドライバソフトウェアをインストールします**をクリックしてください。

5 **プリンタが正しくインストールされました**画面が表示されます。**終了**をクリックして**プリンタインストールウィザード**を終了し、CD-ROM のメインメニューに戻ります。

終了を押した後、デバイス設定のダイアログが表示された場合、プリントシステムに装着されているオプションなどの設定を行うことができます。デバイス設定は、インストール終了後でも設定できます。詳しくは CD-ROM 収録の**プリンタドライバ操作手順書**の**デバイス設定**を参照してください。

これで、プリンタドライバのインストール作業は終了です。画面の指示に従い、必要に応じてシステムを再起動します。

カスタムモード

カスタムモードは、プリンタポートの指定やインストールするソフトウェアを選択する場合に使用します。

たとえば、PC にインストールされているフォントを上書きしない時、**カスタムモード**を選択し、**インストール画面**の**フォント**のチェックを外します。

1 **カスタムモード**を選択します。



2 **インストールウィザード**画面の指示に従い、インストールするソフトウェアパッケージの選択やポートの指定などを行ってください。

詳しくは CD-ROM 収録の**プリンタドライバ操作手順書**の**カスタムインストール**を参照してください。

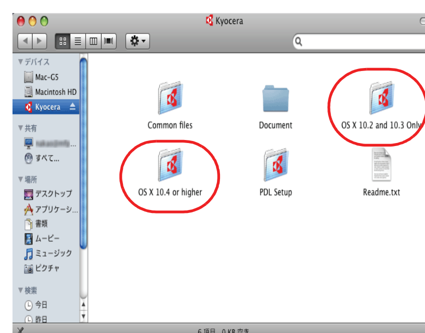
Macintosh へのインストール

1 本機と Macintosh の電源を入れてください。

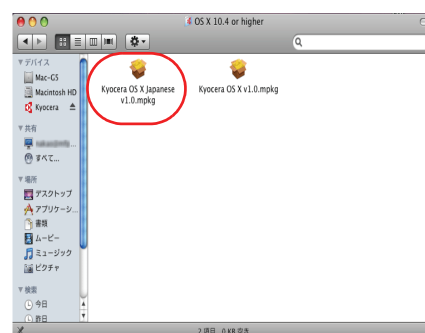
2 付属の CD-ROM（Product Library）を光学ドライブへセットします。

3 CD-ROM アイコンをダブルクリックしてください。

4 使用している OS のバージョンにあわせて、OS X 10.2 and 10.3 only または OS X 10.4 or higher をダブルクリックしてください。



5 Kyocera OS X Japanese x.x をダブルクリックしてください。



6 プリンタドライバのインストールプログラムが起動します。



7 インストールプログラムの表示に従って、**インストール先**、**インストールの種類**を選び、プリンタドライバをインストールしてください。

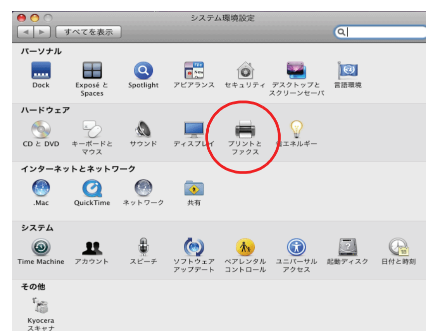
参考：**インストールの種類**では、**標準インストール**の他にインストール内容を指定する**カスタムインストール**を選択することができます。

注意：管理者の名前とパスワード画面では、OS にログインするときに入力した名前とパスワードを入力してください。

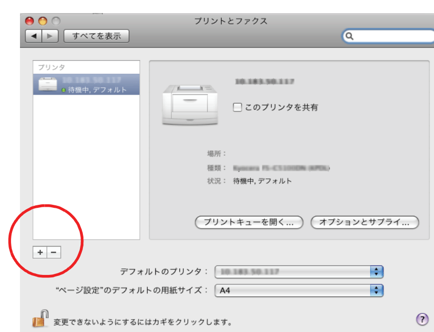
これで、プリンタドライバがインストールされました。続いて、印刷設定を行います。

IP もしくは AppleTalk で接続する場合、以下の設定が必要になります。USB 接続の場合、自動的にプリンタの認識と接続が行われます。

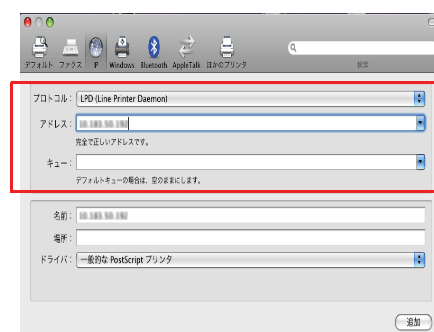
8 **システム環境設定**画面を開き、**プリンタとファックス**をクリックします。



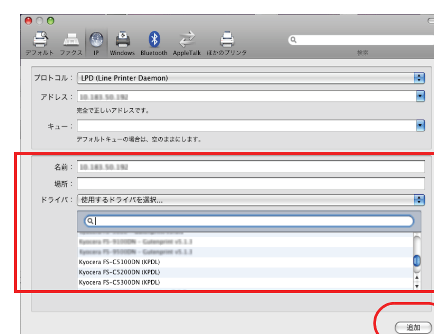
9 インストールしたプリンタドライバを追加するため、＋をクリックします。



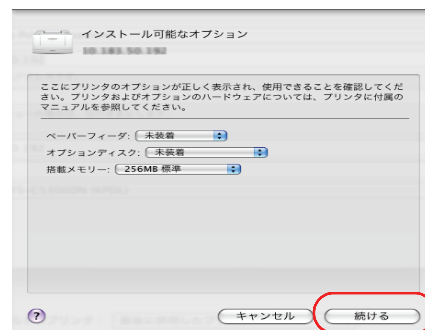
10 IP 接続する場合は IP アイコン、AppleTalk 接続する場合は AppleTalk アイコンをクリックし、IP アドレスとプリンタ名を入力します。



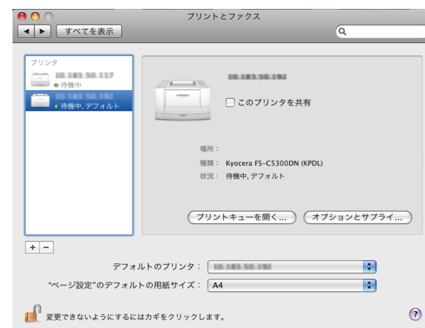
11 インストールしたプリンタドライバを選択し、**追加**をクリックします。



12　プリンタに設置されているオプションを選択し、**続ける**をクリックします。



13　設定したプリンタが追加され、印刷設定作業は終了です。



アプリケーションからの印刷

次の手順で、アプリケーションで作成した文書を印刷できます。

1. 給紙カセットに用紙を入れてください。
2. アプリケーションの**ファイル**メニューから**印刷**を選択してください。印刷ダイアログボックスが表示されます。
3. プリンタのリストから印刷するプリンタを選択してください。
4. 印刷したい部数を**部数**に入力してください。
5. OK をクリックしてください。印刷が始まります。

参考：プリンタドライバのその他の機能については、**KX プリンタドライバ操作手順書**を参照してください。

ステータスモニタ

ステータスモニタは、プリンタの状態を監視し、逐次報告する機能を備えています。また、プリンタドライバに含まれていないプリンタの設定を確認したり変更したりできます。
プリンタドライバをインストールすると、**ステータスモニタ**も自動的にインストールされます。

ステータスモニタの起動

ステータスモニタは、次のいずれかの方法で起動します。

- 印刷開始時に起動：
  ステータスモニタは、プリンタを指定して印刷を開始すると、1 つのプリンタ名につき、1 つ起動します。複数台にプリンタを指定した場合、指定したプリンタの数だけ**ステータスモニタ**が起動します。
- プリンタドライバプロパティから起動：
  プリンタドライバの**プロパティ**ダイアログボックスから**バージョン情報**ボタンをクリックします。**バージョン情報**ダイアログボックスにある**ステータスモニタ**ボタンをクリックすると、**ステータスモニタ**が起動します。

ステータスモニタの終了

ステータスモニタは、次のいずれかの方法で終了します。

- 手動による終了：
  タスクバーのステータスモニタアイコンからメニューを表示させ、**アプリケーションの終了**を選択すると**ステータスモニタ**が終了します。
- 自動的に終了：
  操作を行わない状態で 5 分経過すると、**ステータスモニタ**が自動的に終了します。

ステータスモニタの構成

ステータスモニタの構成は次のとおりです。



ポップアップウィンドウ

情報を通知するイベントが発生した場合、ポップアップウィンドウが表示されます。このウィンドウは、**3D イメージ**がデスクトップに表示されているときだけ表示されます。

3D イメージ

監視対象のプリンタの状態を 3D イメージで表示します。ステータスモニタアイコンを右クリックして表示されるメニューから、ウィンドウの表示および非表示を切り替えられます。

情報を通知するイベントが発生した場合、ポップアップウィンドウと音声で通知します。音声による通知の設定方法については、2-19 ページの**ステータスモニタの設定**を参照してください。

ステータスモニタアイコン

ステータスモニタが起動中は、タスクバーの通知領域に表示されます。アイコンにカーソルを置くと、プリンタの名称が表示されます。**ステータスモニタアイコン**を右クリックすると、以下のオプション設定ができます。

ステータスモニタを表示

ステータスモニタアイコンの表示と非表示を切り替えます。

プリントシステムの設定

TCP/IP ネットワーク環境で接続し、IP アドレスを所有している場合、Web ブラウザを使って COMMAND CENTER にアクセスし、ネットワーク設定の変更または確認を行います。詳しくは、**京セラ COMMAND CENTER 操作手順書**を参照してください。

ステータスモニタの設定

ステータスモニタの**音声通知**と**表示**の設定を行います。詳しくは、2-19 ページの**ステータスモニタの設定**を参照してください。

Kyocera Web サイト

京セラミタホームページを開きます。

アプリケーションの終了

ステータスモニタが終了します。

ステータスモニタの設定

ステータスモニタアイコンを右クリックして表示されるメニューから **ステータスモニタの設定**を選択すると、2 つのタブで構成されるウィンドウが表示されます。このタブからステータスモニタの各種設定ができます。

音声通知タブ

音声通知タブでは、次のような設定ができます。

重要：**音声通知**タブで設定した内容を確認するには、サウンドカードやスピーカなど音声を再生する環境が必要です。



イベントの通知を有効にする

イベントリストに該当するエラーが発生した場合、音声で通知を行うかどうかを設定します。

サウンドファイル又は読み上げるテキスト

音声による通知が必要な場合、サウンドファイルが選択できます。**ファイルの参照**をクリックして、サウンドファイルを検索します。

音声合成を使用する

このチェックボックスを選択すると、テキストボックスに入力したテキストを読み上げます。Windows XP 以降で使用できる機能で、サウンドファイルは不要です。

音声通知タブの機能を使用するには、次の手順に従ってください。

1 **イベントの通知を有効にする**を選択します。

2 **有効なイベント**リストから、イベントを選択します。

3 サウンドファイルを使ってイベントを通知する場合、**参照**をクリックしてファイルを指定します。

参考：使用できるファイルの形式は WAV ファイルです。

音声合成を使用するを選択すると、**読み上げるテキスト**ボックスに入力したテキストをイベント発生時に読み上げます。

4 **再生**をクリックして、サウンドファイルまたはテキストが正しく再生されることを確認します。

表示タブ

表示タブでは、次のような設定ができます。



ウィンドウ拡大

このチェックボックスを選択すると、**3D イメージ**と**ポップアップウィンドウ**のサイズやフォントを 2 倍に拡大します。

常に手前に表示

このチェックボックスを選択すると、**3D イメージ**と**ポップアップウィンドウ**を常にウィンドウの前面に配置します。複数の**ステータスモニタ**でこの設定が有効になっている場合、**3D イメージ**は重ねて表示されます。

透明度

3D イメージと**ポップアップウィンドウ**を半透明なウィンドウとして表示します。0%（透過なし）から 50% まで設定できます。

ソフトウェアのアンインストール（Windows PC の場合）

本機に同梱の CD-ROM（Product Library）を使って、ソフトウェアをアンインストール（削除）できます。

注意：Macintosh の場合、PPD（PostScript Printer Description）ファイルを使用して印刷設定を行うため、CD-ROM（Product Library）を使用してアンインストールすることはできません。

---

1 すべてのアプリケーションソフトウェアを終了します。

2 付属の CD-ROM（Product Library）を光学ドライブへセットします。

3 プリンタドライバのインストールと同じ手順で進み、**ソフトウェアの削除**をクリックします。Kyocera Uninstaller ウィザードが表示されます。

4 削除したいソフトウェアを選択します。

5 **アンインストール**をクリックします。

参考：Windows Vista の場合、**ドライバとパッケージを削除する**画面が表示されます。**ドライバとパッケージを削除する**を選び、OK をクリックします。

ソフトウェアの削除が開始されます。

6 アンインストールの完了を知らせるウィンドウが表示されたら、**次へ**をクリックします。

7 システムを再起動するかどうかを選択した後、**終了**をクリックします。

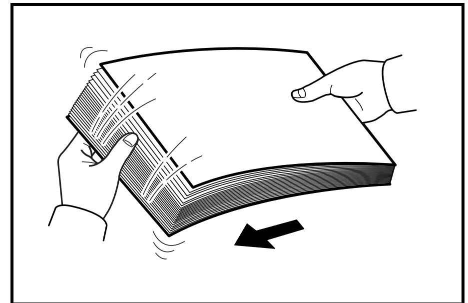
3　日常のメンテナンス

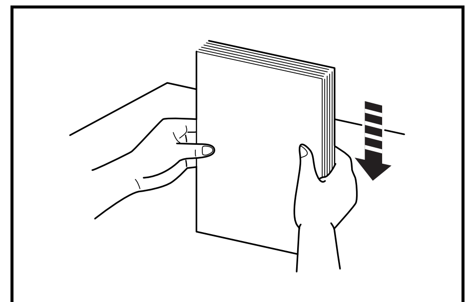
この章では、用紙の補給、トナーコンテナの交換、プリンタ内部の清掃方法について説明します。

用紙の補給

カセットや手差しトレイに用紙を補給する手順について説明します。

給紙カセットや手差しトレイに用紙をセットする際は、図のように用紙をさばき、平らなところで用紙の端をよく揃えてください。

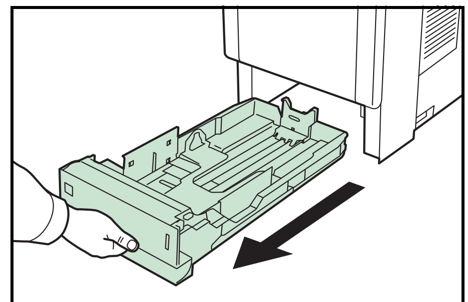




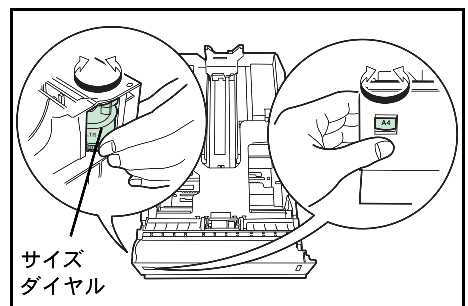
給紙カセットの用紙の補給

給紙カセットに用紙を補給する場合は、次の手順で行ってください。

1 給紙カセットを、図のように引き出してください。

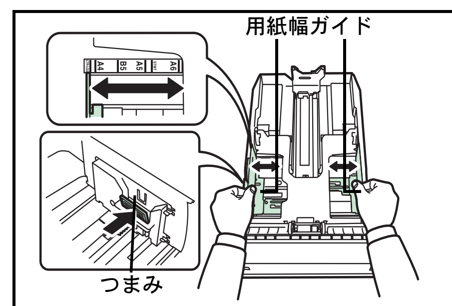


2 サイズダイヤルを回して、使用する用紙サイズが見えるように合わせてください。

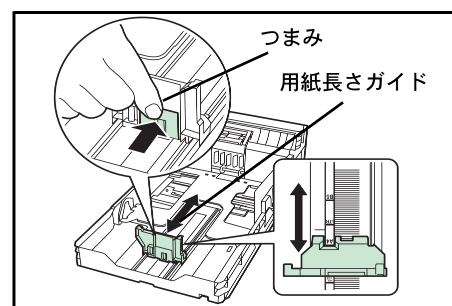


参考：定形外の用紙を使用する場合は、サイズダイヤルを Other にセットしてください。その際は操作パネルからその用紙サイズを設定することが必要です。詳しくは、**使用説明書 応用編 2 操作パネル「ヨウシ ノ セッテイ」（用紙の設定）**を参照してください。

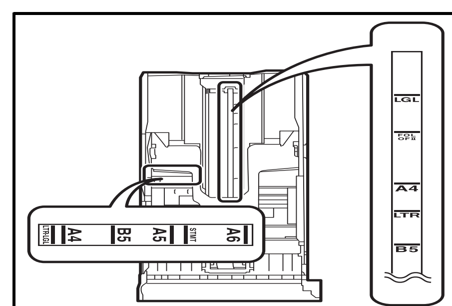
3 左右の用紙幅ガイドの位置を調整します。つまみを引き上げながらスライドさせて、使用する用紙サイズに合わせてください。



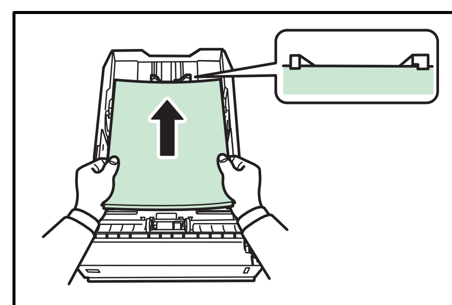
4 給紙カセット後部の用紙長さガイドの位置を調整します。つまみを引き上げながらスライドさせて、使用する用紙サイズに合わせてください。



用紙サイズは図のように、給紙カセットに刻印されています。

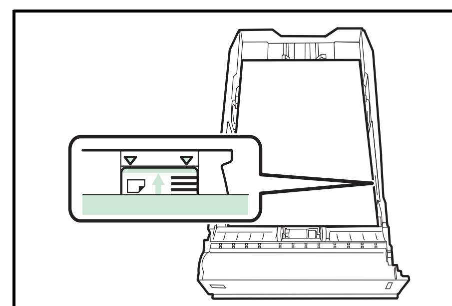


5 用紙の端をそろえて、図のように給紙カセットに入れてください。



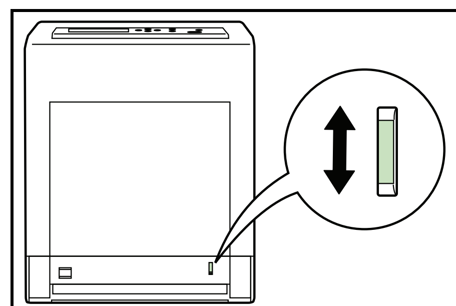
重要：用紙の高さは、用紙上限表示以下になるようにしてください。

厚さ 0.11 mm/ 枚の用紙で約 500 枚までです。



6 給紙カセットを奥まで押し込んでください。

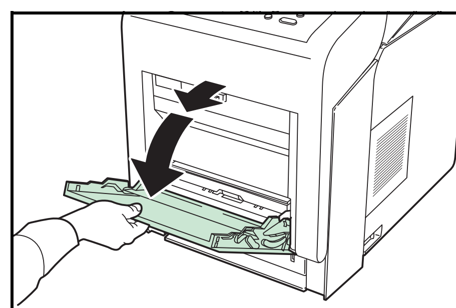
給紙カセット前面の右側に用紙残量表示があります。用紙の残量に合わせて表示が上下します。



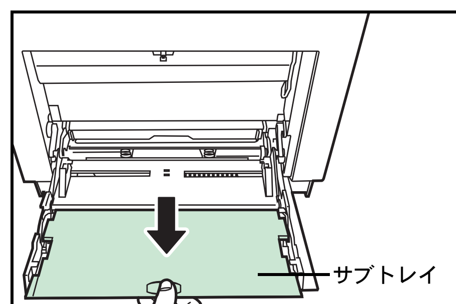
手差しトレイの用紙の補給

手差しトレイに用紙を補給する場合は、次の手順で行ってください。

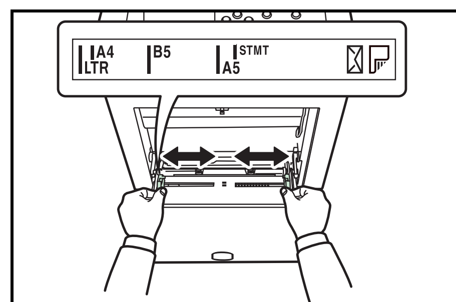
1 手差しトレイの中央を押してください。少し開きますので、手前に止まるまで開いてください。



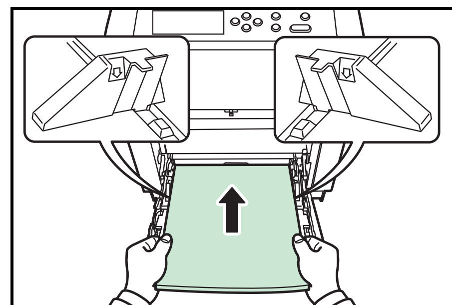
2 サブトレイを隙間がないように、手前に止まるまで引き出してください。



3 用紙ガイドの位置を調整します。用紙サイズは手差しトレイに刻印されていますので、用紙ガイドをスライドさせて、使用する用紙サイズに合わせてください。



4 用紙の先端をそろえて、手差しトレイに入れてください。



重要：用紙の高さは、用紙上限表示以下になるようにしてください。

OHP フィルムを印刷する場合、1 枚ずつ給紙してください。

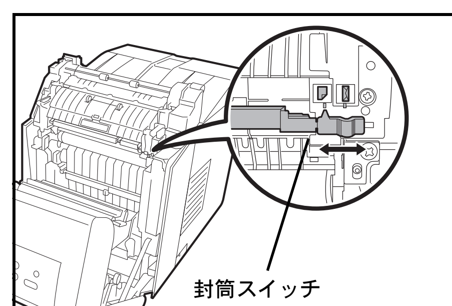
すでに印刷されている用紙の裏面を使用するときなど、用紙がカールしている場合は、まっすぐにのばしてからセットしてください。

○		
×		

5 操作パネルで、手差しトレイの用紙サイズを設定してください。詳しくは、**使用説明書 応用編 2 操作パネル「ヨウシノセッテイ」（用紙の設定）**を参照してください。

6 紙の厚さ（封筒、普通紙）に合わせて、印刷モードを設定してください。封筒を印刷する場合、封筒スイッチを右にスライドさせて封筒モードにします。また、普通紙を印刷する場合、左にスライドさせて普通紙モードにします。

印刷モードはスイッチに刻印されていますので、使用する用紙に合わせて確認してください。

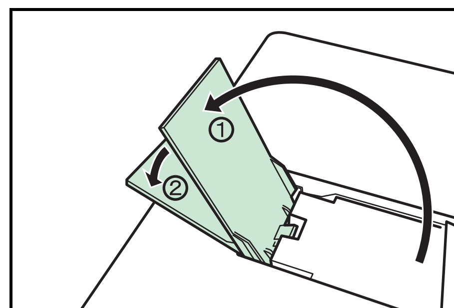


注意：普通紙モード設定時には、封筒は印刷できません。また、封筒モード設定時に普通紙を印刷した場合、印刷速度および印字品質が低下します。

排紙ストッパ

用紙サイズに合わせて排紙ストッパを設定してください。

- A4、LTR の場合：①の位置
- LGR の場合：②の位置



トナーコンテナの交換

トナーが残り少なくなると、メッセージディスプレイに「**トナーガ　スクナクナリマシタ**」が表示されます。このメッセージの表示後もそのまま印刷を続けることが可能ですが、一定枚数の印刷を行うと「**トナーヲ　コウカンシテクダサイ** C,M,Y,K」が表示されて、プリンタは停止します。最初のメッセージが表示されたら、早めに以下のトナーキットを準備してください。

FS-C5200DN の場合

トナーの色	トナーコンテナの型番
ブラック（K）	TK-551K
シアン（C）	TK-551C
マゼンタ（M）	TK-551M
イエロー（Y）	TK-551Y

FS-C5300DN の場合

トナーの色	トナーコンテナの型番
ブラック（K）	TK-561K
シアン（C）	TK-561C
マゼンタ（M）	TK-561M
イエロー（Y）	TK-561Y

トナーコンテナの交換時期

1 本のトナーコンテナで印刷可能な枚数は、印刷データ（どれだけのトナーを使うか）によって変わります。ISO/IEC 19798 に準拠しエコプリントモードをオフで使用した場合、トナーコンテナの平均的な印刷可能枚数は以下のとおりです（A4 で印刷の場合）。

FS-C5200DN の場合

トナーの色	トナーコンテナの寿命（印刷枚数）
ブラック（K）	7,000 イメージ
シアン（C）	6,000 イメージ
マゼンタ（M）	6,000 イメージ
イエロー（Y）	6,000 イメージ

FS-C5300DN の場合

トナーの色	トナーコンテナの寿命（印刷枚数）
ブラック（K）	12,000 イメージ
シアン（C）	10,000 イメージ
マゼンタ（M）	10,000 イメージ
イエロー（Y）	10,000 イメージ

参考：プリンタに付属しているトナーコンテナは、それぞれ約 50％の容量です。（例えば、FS-C5200DN ブラック（K）の印刷枚数は約 3,500 イメージです。）

トナーキットの内容

- トナーコンテナ
- 廃棄トナーボックス
- 廃棄用ポリ袋： 2枚（古いトナーコンテナおよび廃棄トナーボックスを入れてください。）
- 使用説明書

重要：トナーコンテナの交換の際には、フロッピーディスクなどを近くに置かないでください。

トナーコンテナの交換後は、プリンタ内部の清掃を行ってください。詳しくは3-12ページの**清掃**を参照してください。

プリンタのトラブル防止や、末永くプリンタをご使用いただくため、純正トナーキットをご使用ください。純正トナーキット以外を使用した場合は、プリンタの品質を損なうなどのトラブルの原因となります。

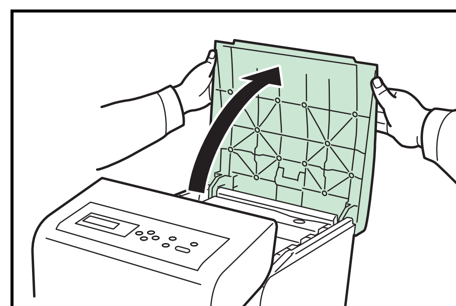
トナーコンテナの交換方法

注意：トナーコンテナは火中に投じないでください。火花が飛び散り、やけどの原因となることがあります。また、無理に開けたり壊したりしないでください。

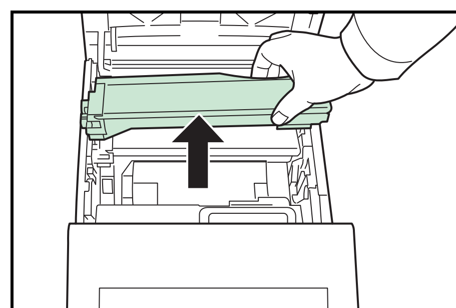
参考：トナーコンテナの交換は、プリンタの電源を入れたまま行えます。

トナーコンテナの交換の際は、最初に交換が必要なトナーコンテナの色を確認してください。次の例は、イエロー（Y）のトナーコンテナの交換手順です。

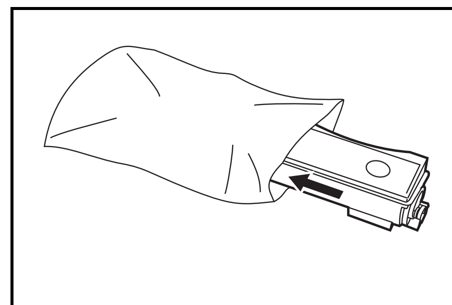
1 プリンタの上カバーを開いてください。



2 図のように古いトナーコンテナをゆっくりと取り外してください。

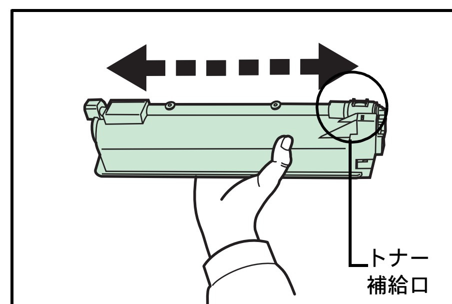


3 新しいトナーコンテナをトナーキットから取り出してください。

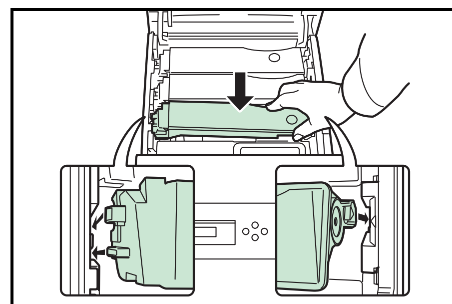


注意：使用済みのトナーコンテナは、トナーが飛散しないように、新しいトナーキットに付属の廃棄用ポリ袋に入れてください。

4 内部のトナーが均一になるように、注意などの刻印表示面を下側にして図のように 5 〜 6 回振ってください。その際、トナーコンテナ中央部を強く押したり、トナー補給口に手を触れないでください。

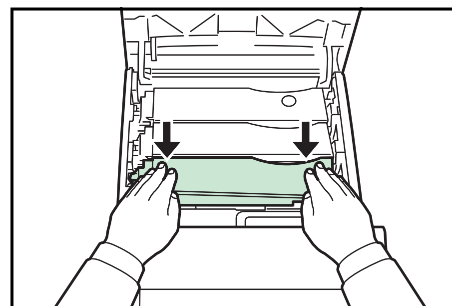


5 新しいトナーコンテナの刻印表示面を上側にし、左右のミゾに合わせて、水平にプリンタに装着してください。



6 トナーコンテナを押して、カチッと音がするまで確実に装着してください。

その他の色のトナーコンテナを交換する場合にも、同じ手順で行ってください。



7 上カバーを閉じてください。

参考：上カバーが閉まらない場合は、トナーコンテナが正しい位置にあるか（手順 7）もう一度確認してください。

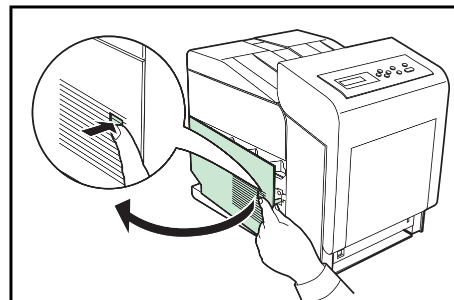
京セラミタでは環境問題を考慮し、使用済みトナーコンテナの無償回収を実施しております。詳しくは、トナーキットに同梱されている**「トナーコンテナ引き取り回収依頼書」**または京セラミタ株式会社のホームページを参照してください。
http://www.kyoceramita.co.jp/support/

廃棄トナーボックスの交換

廃棄トナーボックスの交換方法

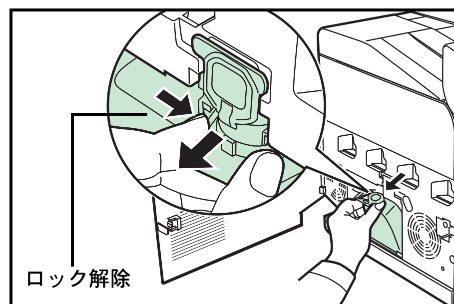
メッセージディスプレイに「**ハイキトナーボックス ヲ カクニンシテクダサイ**」と表示された場合は、次の手順で廃棄トナーボックスを交換してください。交換用の廃棄トナーボックスは、新しいトナーキットに付属しています。

1 プリンタの左カバーを開いてください。



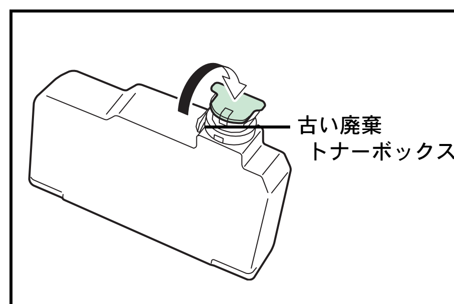
2 廃棄トナーボックスを押さえながらロック解除レバーを押し、ゆっくりと廃棄トナーボックスを取り外してください。

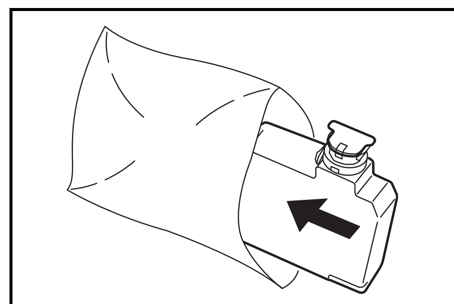
参考：廃棄トナーボックスを取り外すときは、トナーがこぼれないように注意してください。キャップが開いている状態で廃棄トナーボックスを下に向けたりしないでください。



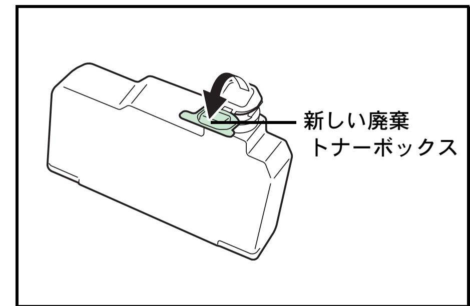
3 取り出した古い廃棄トナーボックスに、図のようにキャップをしてください。

注意：古い廃棄トナーボックスは、トナーが飛散しないよう、付属の廃棄用ポリ袋に密封して処理してください。

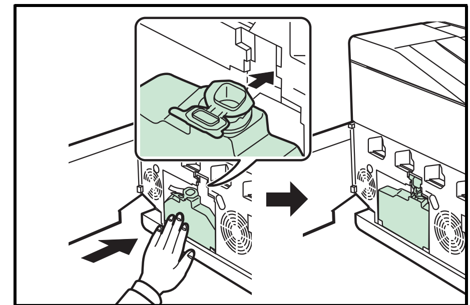




4 新しい廃棄トナーボックスのキャップを開けてください。



5 図のように新しい廃棄トナーボックスの下側を装着部に合わせ、ロックされるまで押し込んで、プリンタに装着してください。



6 廃棄トナーボックスが正しく装着されていることを確認し、左カバーを閉めてください。

トナーコンテナの交換後は、プリンタ内部の清掃を行ってください。3-12 ページの**清掃**を参照してください。

清掃

トナーコンテナや廃棄トナーボックスの交換時は、搬送ユニットの清掃をしてください

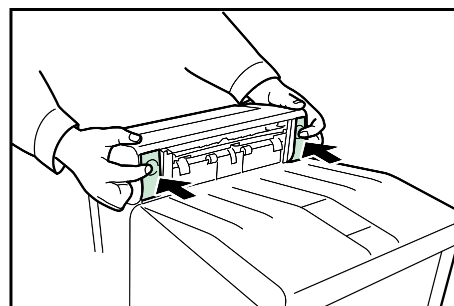
最良の印刷品質を保つために、トナーコンテナ交換時以外にも月に 1 回程度はプリンタ内部を清掃することをおすすめします。

また、印刷にスジなどの汚れが出たり、印刷が薄かったりぼやける場合にも清掃してください。

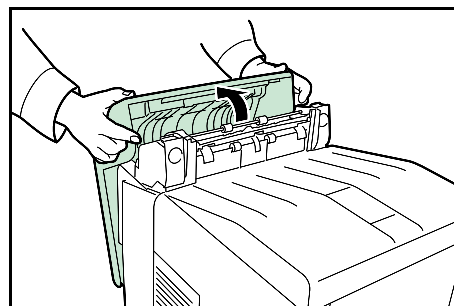
搬送ユニットの清掃

搬送ユニットが汚れると、印刷した用紙の裏が汚れるなどの問題が起こる場合があります。搬送ユニットは次の手順で清掃してください。

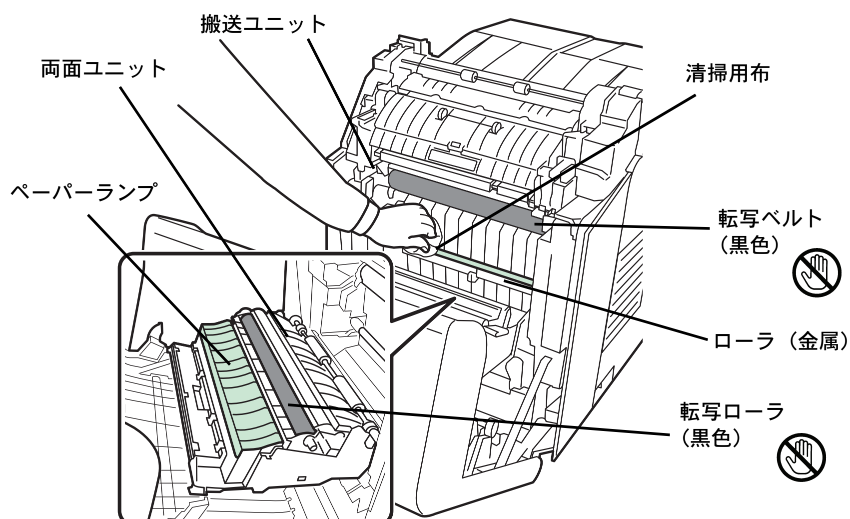
1 レバーを押してロックを外します。



2 前カバーを手前に倒してください。



3 乾いた柔らかい清掃用布で、金属のローラに付着している紙粉やペーパーランプ上の汚れを拭き取ってください。



重要：清掃中は転写ローラ（黒色）や転写ベルト（黒色）に触れないようにご注意ください。印刷品質が低下する原因になります。

4 前カバーを元に戻してください。

注意：前カバーを閉じるとき、手を挟まないように注意してください。

4　困ったときは

この章では、トラブルが発生したときの対処方法を説明します。

一般的な問題について

問題と見られる症状の中には、お客様ご自身で解決できるものが少なくありません。ここでは、このような問題に対する処置方法について説明します。プリンタに何らかの問題が発生した場合は、故障とお考えになる前に次のチェックを行ってみてください。

現象	確認事項	処置
印刷品質が悪い。		4-3 ページの**印刷品質の問題**を参照してください。
用紙がつまった。		4-11 ページの**紙づまりの処置**を参照してください。
電源を入れても、操作パネルに何も表示されず、ファンの回る音もしない。	電源コードがプリンタとコンセントに差し込まれているか、確認してください。	電源を一度切ってから、電源コードを確実に差し込み、もう一度電源を入れなおしてください。
	電源スイッチがオン（｜）の位置になっているか確認してください。	電源スイッチをオン（｜）の位置にしてください。
ステータスページは正常に印刷するが、PC からのデータが正常に印刷されない。	接続しているケーブルを確認してください。	接続しているケーブルを両端とも確実に接続してください。ケーブルを別のものと交換してみてください。 インタフェースの仕様については、**使用説明書 応用編 付録（インタフェース）**を参照してください。
	プログラムファイルや、アプリケーションソフトを調べてみてください。	別のファイルを印刷してみてください。または、別のアプリケーションで印刷してみてください。ある一定のファイルやアプリケーションのみに問題が発生するようであれば、そのアプリケーションのプリンタ設定等を確認してください。
排紙トレイ付近から湯気が出る	プリンタを使用している場所の温度が低くないか、かつ湿気を帯びた用紙が使用されていないか確認してください。	プリンタを使用する環境や用紙の状態によっては、用紙に含まれる水分が、印刷時の熱によって蒸発し、その水蒸気が煙のように見える場合があります。そのまま印刷を続けても問題はありません。 水蒸気が気になる場合は、室内温度を上げるか、湿気の少ない新しい用紙に交換してください。

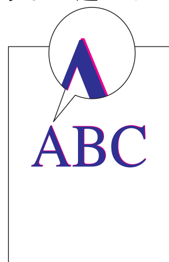
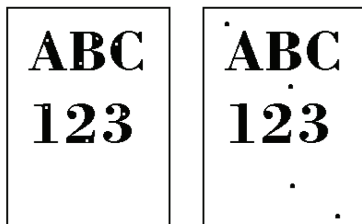
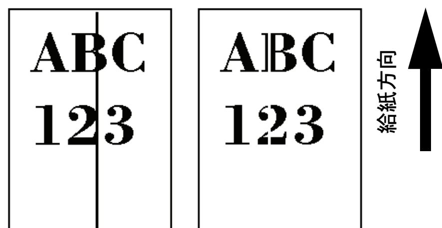
さらに、次の点を確認してください。

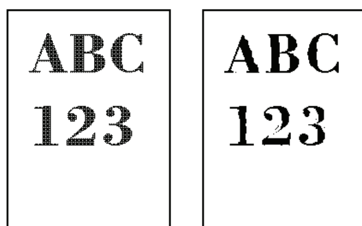
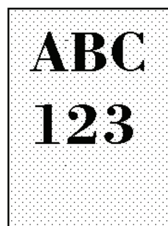
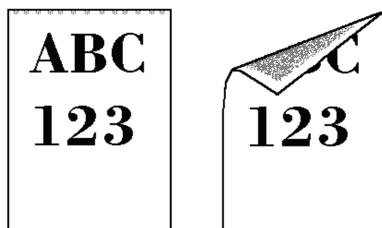
- プリンタに接続している PC を再起動してください。
- 最新バージョンのプリンタドライバを使用してください。京セラミタ株式会社のホームページからダウンロードできます。
  http://www.kyoceramita.co.jp/download/

以上のチェックを行ってみても、問題が解決されない場合は、お買い求めの京セラミタジャパン株式会社正規特約店、または弊社お客様相談窓口にご連絡ください。電話番号は最終ページを参照してください。

印刷品質の問題

印刷品質の問題には、印刷ムラなどさまざまな症状があります。ここではそれぞれの症状に応じた処置の方法を説明します。ここで説明する処置を行っても問題が解決されない場合は、お買い求めの京セラミタジャパン株式会社正規特約店、または弊社お客様相談窓口にご連絡ください。電話番号は最終ページを参照してください。

印刷例	処置
色ずれが起こる 	操作パネルからカラーの位置補正を実行してください。詳しくは、**使用説明書 応用編 2 操作パネル「カラー イチホセイ ヒョウジュン」（カラー印刷位置の補正（標準））**もしくは**「カラー イチホセイ ショウサイ」（カラー印刷位置の補正（詳細））**を参照してください。
全体に一色が印刷される。 	メインチャージャユニットを確認してください。 プリンタの左カバーを開き、メインチャージャユニットが正しく装着されているかを確認してください。
白抜けや点が印刷される。 	メインチャージャユニットを清掃してください。 詳しくは、**使用説明書 応用編 2 操作パネル「LSU/ チャージャ」（LSU/ メインチャージャ清掃モードの設定）**を参照してください。
縦線が入る。 	操作パネルを確認してください。 **「トナー ガ スクナクナリマシタ #######」**が表示されているときは、表示されてる色のトナーコンテナを交換してください。詳しくは、3-7 ページの**トナーコンテナの交換**を参照してください
	メインチャージャユニットを清掃してください。 詳しくは、**使用説明書 応用編 2 操作パネル「LSU/ チャージャ」（LSU/ メインチャージャ清掃モードの設定）**を参照してください。

印刷例	処置
画像が薄い、またはぼやける。 	メインチャージャユニットを清掃してください。 詳しくは、**使用説明書 応用編 2 操作パネル「LSU/ チャージャ」（LSU/ メインチャージャ清掃モードの設定）**を参照してください。
	用紙種類の設定が正しいか確認してください。詳しくは、**使用説明書 応用編 2 操作パネル「ヨウシノセッテイ」（用紙の設定）**を参照してください。
	プリンタの電源スイッチを一度切ってから入れ直すか、または、操作パネルからカラーの調整を実行してください。詳しくは、**使用説明書 応用編 2 操作パネル「カラー チョウセイ ノ ジッコウ」（カラー調整）**を参照してください。
	プリンタドライバから色の設定を調節してください。
	操作パネルで階調モードを切り換えてください（標準 / 高画質）。詳しくは、**使用説明書 応用編 2 操作パネル「インサツセッテイ」（印刷の設定）**を参照してください。
	操作パネルを確認してください。 **「トナー ガ スクナクナリマシタ #######」**が表示されているときは、表示されてる色のトナーコンテナを交換してください。詳しくは、3-8 ページの**トナーコンテナの交換方法**を参照してください。
背景が一様にうすい色になる。 	メインチャージャユニットを清掃してください。 詳しくは、**使用説明書 応用編 2 操作パネル「LSU/ チャージャ」（LSU/ メインチャージャ清掃モードの設定）**を参照してください。
	プリンタの電源スイッチを一度切ってから入れ直すか、または、操作パネルからカラー調整を実行してください。詳しくは、**使用説明書 応用編 2 操作パネル「インサツセッテイ」（印刷の設定）**を参照してください。
用紙の先端や裏側が汚れる。 	搬送ユニット内部を確認してください。 前カバー、両面ユニットを開き、搬送ユニット内部がトナーなどで汚れていないか確認してください。汚れている場合は、トナーキットに付属の清掃用布で拭き取ってください。詳しくは、3-12 ページの**搬送ユニットの清掃**を参照してください。
	メインチャージャユニットを清掃してください。 詳しくは、**使用説明書 応用編 2 操作パネル「LSU/ チャージャ」（LSU/ メインチャージャ清掃モードの設定）**を参照してください。

エラーメッセージ

次の表では、お客様で対処可能なメンテナンスメッセージを挙げています。

「**サービスヲ オヨビ クダサイ**」や「**Call service**」、「**エラー デンゲン オフ**」や「**Error power off**」が表示された場合、電源を入れ直して復帰するかご確認ください。改善されない場合、プリンタの電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてお買い求めの京セラミタジャパン株式会社正規特約店、または弊社お客様相談窓口にご連絡ください。電話番号は最終ページを参照してください。

メッセージとともにブザーが鳴る場合もあります。ブザーを止めるには、[**キャンセル**] キーを押してください。

メッセージ	処置
Call service F###	プリンタコントローラのエラーが発生してプリンタは停止しました。「###」の表示をメモに控え、その後プリンタの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてお買い求めの京セラミタジャパン株式会社正規特約店、または弊社お客様相談窓口にご連絡ください。電話番号は最終ページを参照してください。
Call service F000	プリンタコントローラと操作パネル間のデータのやり取りができません。プリンタの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてお買い求めの京セラミタジャパン株式会社正規特約店、または弊社お客様相談窓口にご連絡ください。電話番号は最終ページを参照してください。
Error. Power off F###	プリンタコントローラのエラーが発生してプリンタは停止しました。「###」の表示をメモに控え、その後プリンタの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてお買い求めの京セラミタジャパン株式会社正規特約店、または弊社お客様相談窓口にご連絡ください。電話番号は最終ページを参照してください。
Error. Power off F000	プリンタコントローラと操作パネル間のデータのやり取りができません。プリンタの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてお買い求めの京セラミタジャパン株式会社正規特約店、または弊社お客様相談窓口にご連絡ください。電話番号は最終ページを参照してください。
ID エラー ID ガ チガイマス	• 部門管理メニューに入る時に、入力したアクセスコードと設定したアクセスコードが違います。正しいアクセスコードを確認してください。詳しくは、**使用説明書 応用編 2操作パネル「ブモンカンリ」(部門管理の選択・設定)** を参照してください。 • プライベートプリントで印刷する時に、入力したアクセスコードと設定したアクセスコードが違います。正しいアクセスコードを確認してください。詳しくは、**使用説明書 応用編 2 操作パネル「ジョブボックス」(Job Box の選択)** を参照してください。
KPDL エラー ## カイジョ ヲ オシテクダサイ	KPDL(PostScript Level 3 互換のページ記述言語)のエラーです。印刷を再開するために [**印刷可 / 解除**] キーを押します。印刷を中止する場合は、[**キャンセル**] キーを押します。オートエラークリアがオンのときは、一定時間が経つと、自動的に印刷を開始します。モード選択メニューから「**>KPDL エラー ノ インサツ**」を選択し、オンにするとエラーレポートが出力されます。詳しくは、**使用説明書 応用編 2 操作パネル「インサツセッテイ」(印刷の設定)** を参照してください。
MK ヲ コウカンシテクダサイ	メンテナンスキットの交換が必要です。メンテナンスキットは、約 200,000 イメージの印刷ごとに交換します。お買い求めの京セラミタジャパン株式会社正規特約店、または弊社お客様相談窓口にご連絡ください。電話番号は最終ページを参照してください。
RAMディスク エラー ## カイジョ ヲ オシテクダサイ	RAM ディスクエラーが起こりました。「##」にエラーコードが表示されます。RAM ディスクエラーは 4-10 ページの **RAM ディスクのエラー ##** を参照してください。[**印刷可 / 解除**] キーを押すと、印刷可能な状態に戻ります。
USBメモリ エラー カイジョ ヲ オシテクダサイ	USB メモリにエラーが起こりました。[**印刷可 / 解除**] キーを押すと、印刷可能な状態に戻ります。

メッセージ	処置
インサツセイゲン サレテイマス カイジョヲ オシテクダサイ	部門管理機能がオンの状態で、部門ごとに設定された印刷の制限方法が印刷禁止の時、印刷しようとした場合に表示されます。［**印刷可 / 解除**］キーを押すと印刷可能な状態に戻ります。詳しくは、**使用説明書 応用編 2 操作パネル「ブモンカンリ」（部門管理の選択・設定）**を参照してください。
インサツセイゲンヲ コエマシタ カイジョ ヲ オシテクダサイ	部門管理機能がオンの状態で、部門ごとに設定された印刷の制限枚数を超えて印刷しようとした場合に表示されます。［**印刷可 / 解除**］キーを押すと印刷可能な状態に戻ります。詳しくは、**使用説明書 応用編 2 操作パネル「ブモンカンリ」（部門管理の選択・設定）**を参照してください。
ウエカバー ヲ トジテクダサイ	プリンタの上カバーが開いています。上カバーを閉じてください。
ウエ トレイ ノ ヨウシヲトリノゾイテクダサイ	上トレイに用紙がたまっています。上トレイにある用紙をすべて取り除いてください。上トレイには約 250 枚まで収納できます。用紙をすべて取り除くと、印刷が再開されます。
エラー デンゲン オフ F###	プリンタコントローラのエラーが発生してプリンタは停止しました。「**###**」の表示をメモに控え、その後プリンタの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてお買い求めの京セラミタジャパン株式会社正規特約店、または弊社お客様相談窓口にご連絡ください。電話番号は最終ページを参照してください。
カセット1 ヲ イレテクダサイ	給紙カセットが入っていません。表示された番号の給紙カセットを正しく入れてください。オプションのペーパーフィーダが装着されている場合のみ給紙元の数字が表示されます。
カセット1 ヲ カクニンシテクダサイ	給紙元のカセットにリフト異常が発生しています。表示された給紙元（給紙カセットまたはオプションのペーパーフィーダ）のカセットを引き出し、用紙のセット状態を確認してください。 このエラーが繰り返し発生した場合、「Call Service」のエラー表示になります。
カセット1 ニ ヨウシガアリマセン	給紙元の用紙がなくなりました。表示された給紙元（給紙カセット、手差しトレイまたはオプションのペーパーフィーダ）に、要求された用紙を補給してください。 プリンタの状態を示すメッセージ（**「プリント デキマス」**、**「シバラク オマチクダサイ」**、**「データ ショリチュウデス」**）が交互に表示されます。（コピー枚数を 2 枚以上に設定している場合、**「データ ショリチュウデス」**は、交互表示されません。）
カセット1カラ キュウシシマス （用紙サイズ/用紙種類）†	印刷データと一致した給紙カセット内（用紙サイズ、用紙種類）に用紙がありません。操作パネルに表示された給紙カセットに用紙をセットすると、印刷を再開します。オプションのペーパーフィーダが装着されている場合のみ給紙元の数字が表示されます。違う給紙元から印刷をしたい場合は、**使用説明書 応用編 2 操作パネル「インサツセッテイ」（印刷の設定）**を参照してください。
カセット ジュンビチュウ	選択している給紙カセットが準備中です。
カセット ノ デンゲンガ セツゾク サレテイマセン	オプションのペーパーフィーダ（PF-510）に電源が接続されてなく、用紙種類の設定が**「カコウシ」（コート紙）**の場合に表示されます。ペーパーフィーダに電源接続をしてください。
カミヅマリデス ################	紙づまりが起こりました。紙づまりの場所は、**「#...#」**に表示されます。詳しくは 4-11 ページの**紙づまりの処置**を参照してください。
キュウシケイロ ガ アイテイマス	ペーパーフィーダに給紙カセットが装着されていないか、正しく装着されていません。給紙カセットを正しく装着してください。オプションのペーパーフィーダを装着し、下段のペーパーフィーダを給紙元として選択している際に、上段のペーパーフィーダまたはプリンタの給紙カセットが正しく装着されていない場合に表示されます。

メッセージ	処置
サービスヲ オヨビクダサイ ####:0123456	機械的なエラーが発生してプリンタは停止しました。「**#**」に 4 桁の数字やアルファベットが表示され、プリンタの総印刷ページ数も同時に表示されます。「**#**」の表示をメモに控え、その後プリンタの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてお買い求めの京セラミタジャパン株式会社正規特約店、または弊社お客様相談窓口にご連絡ください。電話番号は最終ページを参照してください。
シテイガイノ トナー C, M, Y, K	装着されたトナーの仕向地が、本体の仕向地と一致しない場合に表示されます。指定されたトナーを装着してください。
シテイガイノ トナーガ ソウチャク サレテイマス	装着されたトナーが指定品でない場合に表示されます。指定されたトナーを装着してください。
シテイ ノ トナーガ ソウチャク サレテイマス	装着されたトナーが指定品の場合に表示されます。
ジョブ ヲ ホゾンデキマセン カイジョ ヲ オシテクダサイ	ジョブボックス機能を使った印刷時に、ハードディスクや RAM ディスクの容量が不足している、またはハードディスク未装着時に RAM ディスクが無効となっているため、印刷できませんでした。［**印刷可 / 解除**］キーを押すと、エラーレポートを出力し、印刷可能な状態に戻ります。
セキュリティレベル ヒクイ	セキュリティレベルを低い設定にしているとき表示されます。
ダイヨウ キュウシ シマスカ？ カセット 1	印刷データと一致した給紙カセット内（用紙サイズ、用紙種類）に用紙が無いとき、この代用給紙のメッセージで代わりに使用する給紙カセットを指定できます。オプションのペーパーフィーダが装着されている場合のみ給紙元の数字が表示されます。違う給紙元から印刷をしたい場合は、**使用説明書 応用編 2 操作パネル「インサツ セッテイ」（印刷の設定）**を参照してください。
データ キャンセルチュウ	データのキャンセル中に表示されます。
テザシカラ キュウシシマス（用紙サイズ/用紙種類）†	プリンタに印刷データと一致した給紙カセット（用紙サイズ / 用紙種類）がありません。手差しトレイに用紙を入れて［**印刷可 / 解除**］キーを押すと印刷を再開します。
デバイス ショウチュウ	USB メモリ使用中に、取り外しメニューを実行した場合に表示されます。1，2 秒表示された後、直前の表示に戻ります。
トナー ガ スクナクナリマシタ C,M,Y,K	トナーが少なくなりました。表示されている色の新しいトナーコンテナ（シアン、イエロー、マゼンタ、ブラック）に交換してください。詳しくは、3-7 ページの**トナーコンテナの交換**を参照してください。
トナーヲ コウカンシテクダサイ C,M,Y,K  トナーヲ コウカンシテクダサイ ソウジ モ シテクダサイ	2 つのメッセージが交互に表示されます。表示されたの色の新しいトナーキットを使用してトナーコンテナを交換してください。このメッセージが表示されているときは、プリンタは動作しません。例えば、「**トナーヲ コウカンシテクダサイ C,K**」が表示された場合は、シアンとブラックのトナーを交換してください。
ハードディスク エラー ## カイジョ ヲ オシテクダサイ	ハードディスクエラーが起こりました。「**##**」にそのエラーコードが表示されます。詳しくは 4-9 ページの**記憶装置のエラーコード**を参照してください。［**印刷可 / 解除**］キーを押すと、印刷可能な状態に戻ります。

メッセージ	処置
ハードディスク ノ フォーマット ヲ シテクダサイ	プリンタに装着されたハードディスクがフォーマットされていません。ハードディスクをフォーマットしてください。詳しくはハードディスクの使用説明書を参照してください。
ハイキトナーボックス ヲ カクニンシテクダサイ	廃棄トナーボックスが装着されていないか、または廃棄トナーボックスがほぼ満杯です。廃棄トナーボックスを装着または交換してください。
パスワード エラー	入力したパスワードと設定したパスワードが違います。正しいパスワードを確認してください。詳しくは、**使用説明書 応用編 2 操作パネル「ブモンカンリ」（部門管理の選択・設定）、「カンリシャ」（管理者の設定）**を参照してください。
ヒダリカバー ヲ トジテクダサイ	プリンタの左カバーが開いています。左カバーを閉じてください。
ファイル ガ アリマセン カイジョ ヲ オシテクダサイ	ハードディスク、RAM ディスク、またはメモリカードに指定したファイルがありません。ハードディスク、RAM ディスク、メモリカードについては、**使用説明書 応用編 2 操作パネル「デバイスゼンパン」（デバイス全般の選択・設定）**を参照してください。
フウトウ モード	封筒スイッチが封筒モードになっている場合に表示されます。
フウトウ スイッチ ヲ キリカエテクダサイ	封筒スイッチと用紙種類が不一致の時に表示されます。
フクスウインサツ デキマセン カイジョ ヲ オシテクダサイ	ハードディスクあるいは RAM ディスクが装着されていないため、複数部印刷できません。ハードディスクを装着するか、拡張メモリを増設して、RAM ディスクの設定を行ってください。
ブモンカンリセッテイエラー## カイジョ ヲ オシテクダサイ	部門管理機能がオンの状態で、部門管理の設定や部門の登録、削除が失敗した場合に表示されます。［**印刷可 / 解除**］キーを押すと、印刷可能な状態に戻ります。
ブモンシテイガ チガイマス カイジョ ヲ オシテクダサイ	部門管理機能がオンの状態で、送信された印刷ジョブに部門指定がされていなかった場合や、指定された部門が登録されていなかった（誤った部門が指定されていた）場合に表示されます。［**印刷可 / 解除**］キーを押すと印刷可能な状態に戻ります。詳しくは、**使用説明書 応用編 2 操作パネル「ブモンカンリ」（部門管理の選択・設定）**を参照してください。
ブモン ノ トウロク ガ デキマセン	部門管理メニューで、部門を登録する際に入力された部門コードがすでに存在するとき表示されます。詳しくは、**使用説明書 応用編 2 操作パネル「ブモンカンリ」（部門管理の選択・設定）**を参照してください。
ブモンヲ シテイシテクダサイ	部門コードの入力が必要です。部門管理機能がオンの状態で、ジョブリテンションやステータスページなど、パネル操作よる印刷を行おうとした場合に表示されます。詳しくは、**使用説明書 応用編 2 操作パネル「ブモンカンリ」（部門管理の選択・設定）**を参照してください。
プリント オーバーラン カイジョ ヲ オシテクダサイ	メモリ（VRAM）への展開遅れが発生すると表示されます。［**印刷可 / 解除**］キーを押すと、印刷可能な状態に戻ります。
プリンタ ヲ ソウジシテ カイジョ ヲ オシテクダサイ	プリンタ内部を清掃してください。詳しくは 3-12 ページの**清掃**を参照してください。 **「トナーヲ コウカンシテクダサイ ソウジ モ シテクダサイ」**が表示された後にトナーコンテナを交換した場合、このメッセージが表示されます。プリンタ内部を清掃し、［**印刷可 / 解除**］キーを押すと印刷可能な状態に戻ります。
マエカバー ヲ トジテクダサイ	プリンタの前カバーが開いています。前カバーを閉じてください。

メッセージ	処置
メモリオーバーフロー カイジョ ヲ オシテクダサイ	プリンタのメモリが不足しています。ステータスページを印刷すると、現在のメモリ量を確認できます。 メモリを増設してください。印刷を再開するには［**印刷可 / 解除**］キーを押します。印刷を中止する場合は、［**キャンセル**］キーを押します。オートエラークリアがオンの場合は、一定時間が経つと自動的に印刷を開始します。詳しくは、**使用説明書 応用編 2 操作パネル「デバイスゼンパン」（デバイス全般の選択・設定）**を参照してください。
メモリカード エラー ## カイジョ ヲ オシテクダサイ	メモリカードエラーが起こりました。「**##**」にエラーコードが表示されています。詳しくは 4-9 ページの**メモリカードおよび USB メモリのエラー ##** を参照してください。［**印刷可 / 解除**］キーを押すと、印刷可能な状態に戻ります。
メモリカード ノ フォーマット ヲ シテクダサイ	メモリカードがフォーマットされてないため、データの読み取りまたは書き込みができません。メモリカードをフォーマットしてください。詳しくは、**使用説明書 応用編 2 操作パネル「デバイスゼンパン」（デバイス全般の選択・設定）**を参照してください。
リョウメンインサツデキマセン カイジョ ヲ オシテクダサイ	両面印刷できない用紙サイズまたは用紙種類が選択されているため、両面印刷ができません。［**印刷可 / 解除**］キーを押すと片面で印刷を行います。

† / で区切られたメッセージは交互に表示されます。

記憶装置のエラーコード

ハードディスクのエラー

「**##**」に表示されるエラーコード（数字）を確認して、次を参照してください。

コード	意味
01	ハードディスクのフォーマットエラーです。再度プリンタの電源を入れ直してみてください。
02	ディスクシステムがインストールされていません。システムおよび機器に必要な環境を確認してください。
04	ハードディスクに必要な容量が不足しています。ハードディスク内のデータを整理し、領域を拡大してください。
06	ハードディスクに必要なメモリーが不足しています。メモリーの拡張を行ってください。
10	ホストデータがハードディスクにスプールされているので、フォーマットできません。「**プリント デキマス**」になってからフォーマットしてください。
97	文書データが制限値に達しており、これ以上保存できません。文書データを整理するか、制限値を上げてください。
98	読み取れないページがあります。
99	指定された ID に対する文書データが存在しません。

メモリカードおよび USB メモリのエラー##

「**##**」に表示されるエラーコード（数字）を確認して、次を参照してください。

コード	意味
01	メモリカードがこのプリンタの仕様に適していません。または壊れています。適応するメモリカードを挿入してください。詳しくは**付録** -5 ページの**メモリカード**を参照してください。
02	メモリカードが装着されていません。メモリカードの使用に必要な環境を確認してください。
03	メモリカードがライトプロテクトされています。メモリカードの状態を確認してください。

コード	意味
04	メモリカードの容量が不足しています。不要なファイルを削除するなどしてください。
05	指定したファイルが、メモリカードまたは USB メモリ内にありませんでした。
06	メモリカードに必要なメモリが不足しています。メモリの拡張を行ってください。
50	メモリカードがライトプロテクトされているか、無効なデバイスです。メモリカードの状態を確認してください。

RAM ディスクのエラー

「##」に表示されるエラーコード（数字）を確認して、次を参照してください。

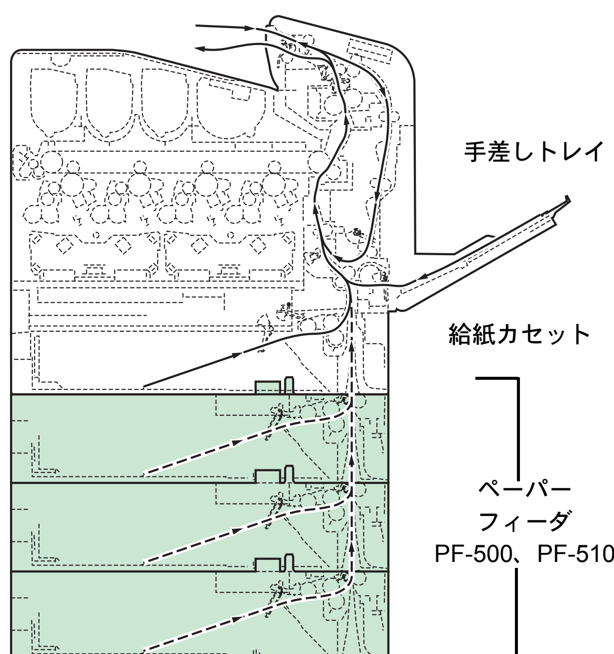
コード	意味
01	フォーマットエラーです。再度プリンタの電源を入れ直してみてください。
02	RAM ディスクモードがオフになっています。RAM ディスクモードをオンにしてください。
04	RAM ディスクの容量が不足しています。RAM ディスク内のデータを整理してから、再度作業を行ってください。または、RAM ディスクの領域を拡大してください。
06	ディスクシステムで使用できるメモリが足りません。プリンタにオプションの拡張メモリを増設してください。

紙づまりの処置

用紙がプリンタ内でつまったときや、用紙が給紙カセットより給紙されなかったときなどにはプリンタは停止し、紙づまりのメッセージと紙づまり発生位置を表示します。つまった用紙を取り除くと通常の状態に戻り、印刷が再開します。

紙づまりのメッセージが表示された場合、プリンタはオフラインになります。

メッセージと紙づまり位置の詳細は次のとおりです。参照ページを参照して、つまった用紙を取り除いてください。



紙づまりメッセージ	内容	参照ページ
カミヅマリデス ホンタイ	プリンタ内部、給紙カセット、または手差しトレイで紙づまりを起こしています。	4-12 ページ 4-13 ページ
カミヅマリデス カセット2(~4)	オプションのペーパーフィーダの給紙カセットで紙づまりを起こしています。	4-14 ページ

紙づまりについて

紙づまりがしばしば起こる場合は、用紙の仕様が本機に合っていない可能性が考えられますので、用紙の種類を変えてみてください。用紙の仕様については**使用説明書 応用編 1 用紙について**を参照してください。用紙を変えて試してみても、紙づまりがしばしば起こる場合は、プリンタに何らかの問題がある場合が考えられますので、お買い求めの京セラミタジャパン株式会社正規特約店、または弊社お客様相談窓口にご連絡ください。電話番号は最終ページを参照してください。

重要：つまった用紙を取り除く際は、プリンタ内に紙片を残さないようご注意ください。

紙づまりを起こしたページは、紙づまりが発生した場所によって再印刷されない場合があります。

オンラインヘルプメッセージ

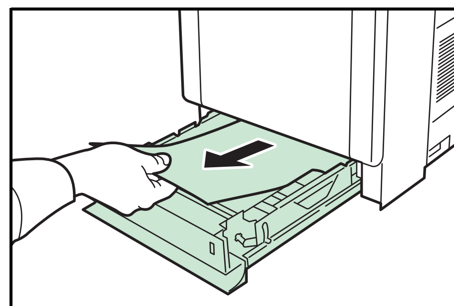
本機はオンラインヘルプメッセージ機能により、紙づまりの処理方法がメッセージディスプレイに表示されます。紙づまりのメッセージが表示された場合は、[?] キーを押してください。オンラインヘルプメッセージは [▽] キーで次の手順のメッセージが表示され、[△] キーで前の手順に戻ります。

紙づまりの際はオンラインヘルプメッセージを利用して、紙づまりの処理をできます。

給紙カセット内での紙づまり

給紙カセットで紙づまりが起きた場合は、次の手順でつまった用紙を取り除いてください。

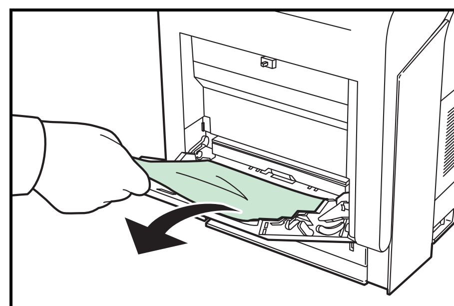
1. プリンタの前カバーを開け、搬送ユニットの紙づまりを先に確認してください。詳しくは 4-13 ページの**搬送ユニットでの紙づまり**を参照してください。
2. 給紙カセットを引き出し、つまった用紙を取り除いてください。



手差しトレイでの紙づまり

手差しトレイで紙づまりが起きた場合は、次の手順でつまった用紙を取り除いてください。

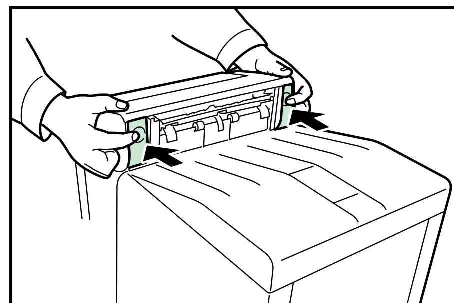
1. プリンタの前カバーを開け、搬送ユニットの紙づまりを先に確認してください。詳しくは 4-13 ページの**搬送ユニットでの紙づまり**を参照してください。
2. 手差しトレイにつまった用紙を取り除いてください。



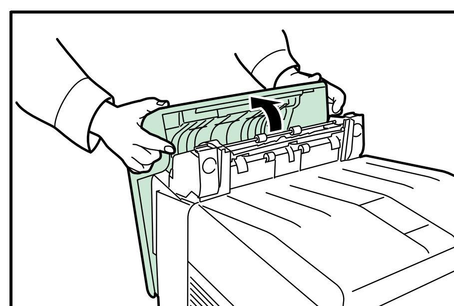
搬送ユニットでの紙づまり

搬送ユニットで紙づまりが起きた場合は、次の手順でつまった用紙を取り除いてください。

1 レバーを押してロックを外します。



2 前カバーを手前に倒してください。



3 図 A のようなローラ（金属）に達していない紙づまりの場合は、用紙の中央から引き出して取り除いてください。

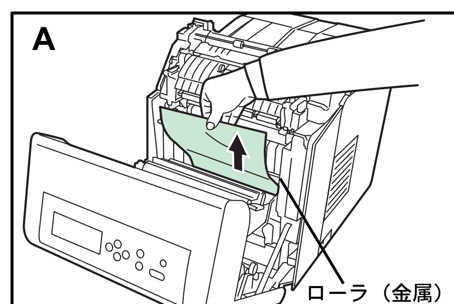


図 B のような定着部に達した紙づまりの場合は、定着カバーを開いて、用紙の先端から引き出して取り除いてください。

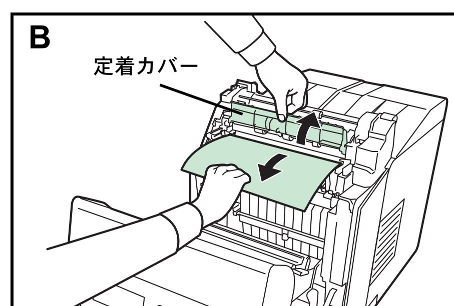
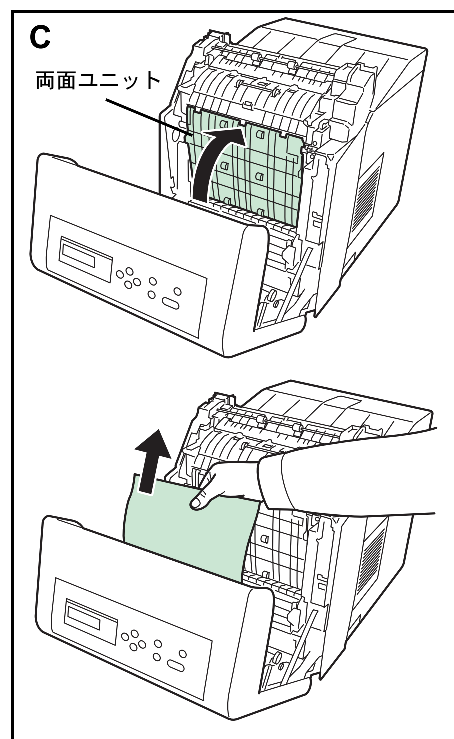
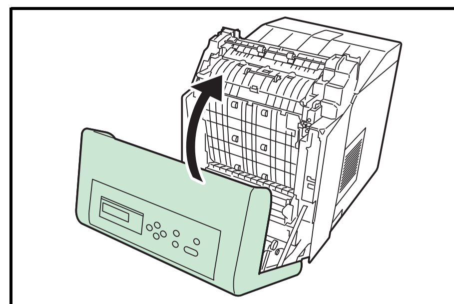


図 C のような両面ユニットに達した紙づまりの場合は、両面ユニットを持ち上げ、用紙の中央から引き出して取り除いてください。

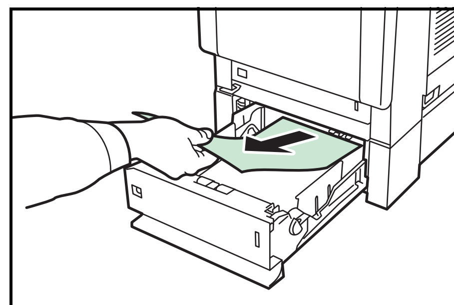


4 前カバーを元に戻してください。



ペーパーフィーダ（オプション）での紙づまり

ペーパーフィーダで紙づまりが起きた場合は、ペーパーカセットを引き出し、つまった用紙を取り除いてください。



付録

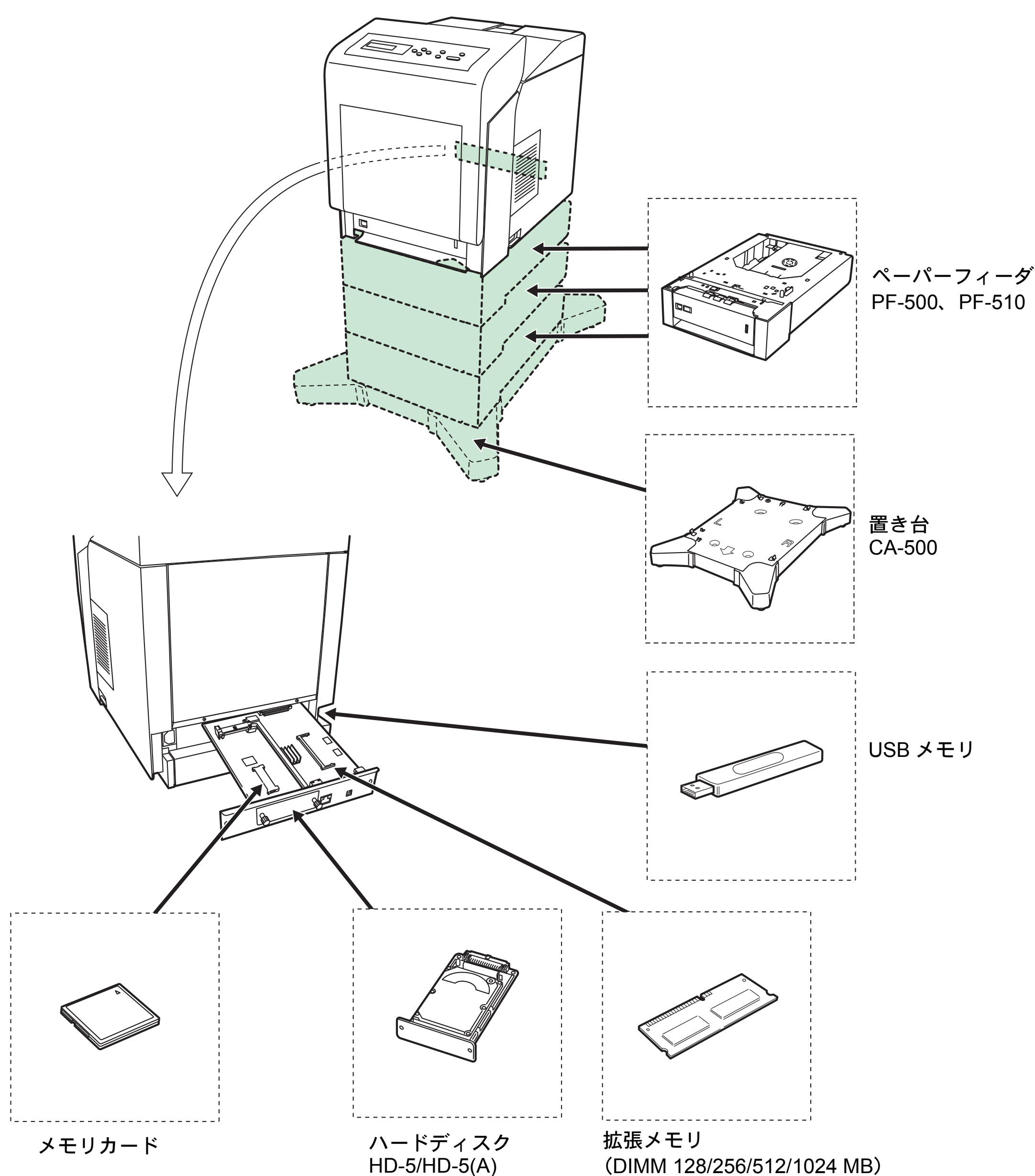
ここでは、プリンタに装着できるさまざまなオプションと、本機の仕様について説明します。

オプションについて

本機は次のオプションが取り付け可能です。お客様の印刷上の用途に適したオプションをお選びください。
オプションの入手方法などについては、京セラミタジャパン株式会社正規特約店または弊社お客様相談窓口にお問い合わせください。電話番号は最終ページを参照してください。

参考：プリンタの本体内に装着する拡張メモリなどは、外部に装着するオプション機器よりも先に装着してください。

オプションの取り付け手順について、詳しくは各オプション付属の説明書を参照してください。



拡張メモリ

メモリを増設するとより複雑なデータの印刷が可能になります。

本機にはメモリ増設のために空きスロットが用意されています。メイン基板にあるスロットにオプションの拡張メモリを装着することで、最大 1280MB までプリンタのメモリを拡張できます。

重要：拡張メモリの増設は京セラミタジャパン株式会社正規特約店、または弊社お客様相談窓口へお申し付けください。電話番号は最終ページを参照してください。お客様自身が装着を行って起きた破損、障害につきましては、弊社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

参考：メモリを 1280MB に増設するときは、1024MB のメモリを追加装着します。（出荷時は、256MB のメモリが装着されています。）

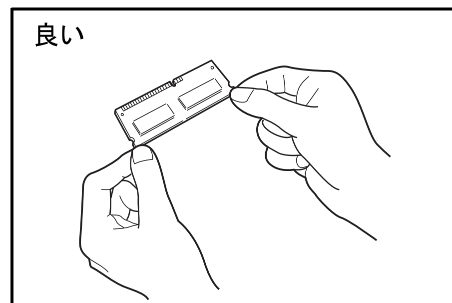
対応拡張メモリ

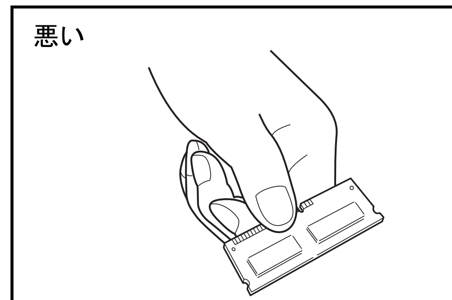
拡張メモリには、128 MB、256 MB、512 MB、1024MB があります。詳しくは京セラミタジャパン株式会社正規特約店、または弊社お客様相談窓口へお問い合わせください。電話番号は最終ページを参照してください。

メイン基板およびメモリ取り扱い上の注意

衣類やカーペットなどを通して人体に蓄積される静電気は、半導体チップを数多く搭載したメモリには大敵です。静電気による破壊からメモリを保護するために、装着前に次の事柄にご注意ください。

- メモリは、プリンタに装着する直前まで静電気防止袋より取り出さないでください。
- メモリに触れる前に、水道の蛇口や金属製のものに触って人体の静電気を除去してください。できれば、静電気対策用のリストバンドを手首にお付けください。
- メモリを取り扱う際は、図のようにプリント配線部分には触れずに必ず基板の端を持ってください。メイン基板も電子部品を傷めないように端を持ってください。





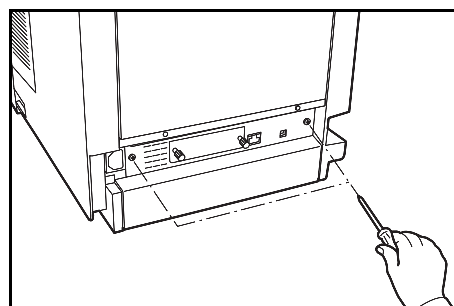
メモリの取り付け

重要：メイン基板をプリンタより引き出す際には、プリンタ後面に十分なスペースを確保してから行ってください。万一異物がメイン基板に接触した場合には、プリンタが破損するおそれがあります。

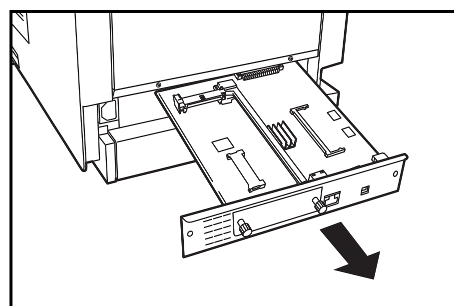
プリンタの USB メモリスロットに、USB メモリを装着している場合には取り外してください。

1 プリンタの電源を切り、電源コードとプリンタに接続しているケーブルをすべて取り外してください。

2 プリンタ背面にあるメイン基板の取り付けネジ 2 本を外してください。

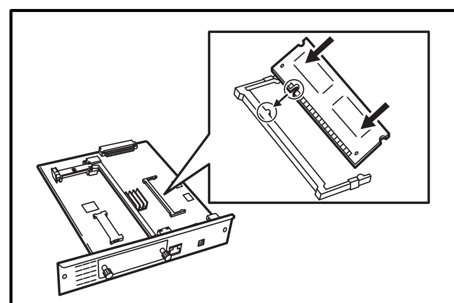


3 メイン基板をプリンタからゆっくりと引き出してください。

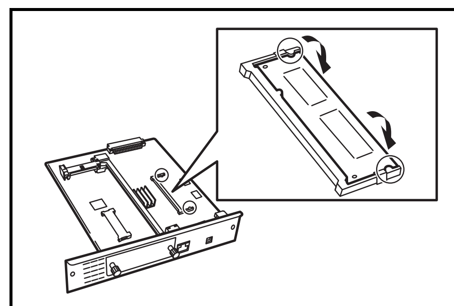


4 オプションの拡張メモリをパッケージから取り出してください。メモリの端子部を下側にし、切り欠き部分とソケットの突起部分を合わせて斜めにまっすぐ奥まで差し込んでください。

注意：メモリソケットに対して、逆向きに取り付けないでください。



5 拡張メモリをソケット部を支点にし、メイン基板と水平の位置まで倒してフックに固定してください。



6 拡張メモリの装着後、メイン基板を取り外したときと逆の手順でプリンタに装着し、ネジで固定してください。

メモリの取り外し

取り付けたメモリを取り外す場合は、メイン基板を取り外し、ソケット両端にあるストッパを外側に開いてください。拡張メモリをソケットから外すことができます。

拡張メモリの確認

拡張メモリを装着してから、正しく装着されたかどうか、次の方法で確認してください。

1 プリンタの電源スイッチがオフになっていることを確認してから電源コードをプリンタにつなぎ、プリンタの電源をオンにしてください。

2 **「プリントデキマス」**が画面に表示されたら、操作パネルの［**メニュー**］キーを押し、次に［△］または［▽］キーを押して、**「レポート インサツ」**を表示させてください。

3 **「レポート インサツ」表示中に、**［▷］キーを押してください。

4 **「ステータスページ ノ インサツ」**が表示されるまで、［△］または［▽］キーを押してください。

5 ［**実行**］キーを 2 回押してください。

印刷されたステータスページで、メモリの量を確認してください。メモリの増設が正しく行われていれば、トータルメモリの数値が増加しています。（工場出荷時、メモリの量は 256 MB です。）

メモリカード

メモリカード（最大 4GB）は、メイン基板にあるメモリカードスロットに差し込みます。メモリカードはオプションフォント、マクロ、フォームなどを書き込めるマイクロチップカードです。

メモリカードの読み込み

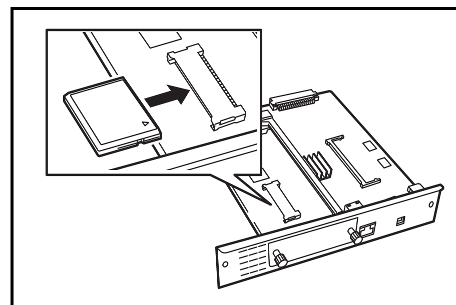
プリンタの電源を入れるとメモリカードの内容が、プリンタに読み込まれます。

メモリカードのフォーマット

未使用のメモリカードを使用するためには、最初に本機でメモリカードのフォーマットを行う必要があります。操作手順については、**使用説明書 応用編 2 操作パネル「メモリカード」（メモリカードの操作）**を参照してください。

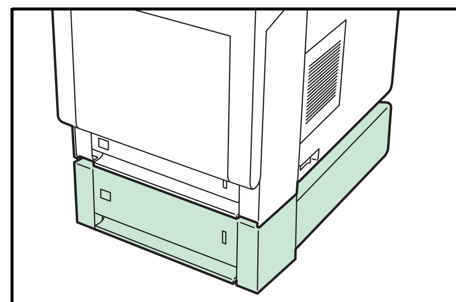
1 プリンタの電源を切ってから電源コードを抜き、メイン基板を取り外します。メイン基板の取り外しは、前述の**メモリの取り付け**を参考にしてください。

2 メモリカードをメモリカードスロットに差し込みます。



ペーパーフィーダ（PF-500、PF-510）

オプションの**ペーパーフィーダ** PF-500（**普通紙用**）、PF-510（**多用途メディア用**）には約 500 枚の用紙が収納できます。プリンタの下に 3 台まで重ねて装着できるので、プリンタの給紙カセットと合わせると最大 2000 枚を連続給紙できます。



注意：ペーパーフィーダへの給紙は、印刷面を上に収納してください。

ペーパーフィーダ付属の給紙カセットで、使用できる用紙は以下の通りです。

PF-500：

用紙サイズ：Envelope Monarch、Envelope #10、Envelope #9、Envelope #6、Envelope DL、Envelope C5、ISO A5、JIS B5、ISO B5、ISO A4、Executive、Letter、Legal、往復はがき、Oficio II、Statement、Folio、洋形 2 号、洋形 4 号、16K、Other（9.2 × 16.2cm ～ 21.6 × 35.6cm）

用紙種類：普通紙、プレ印刷紙、ボンド紙、再生紙、レターヘッド、カラー紙、パンチ済み用紙、カラー印刷用紙、カスタム１（～８）

PF-510：

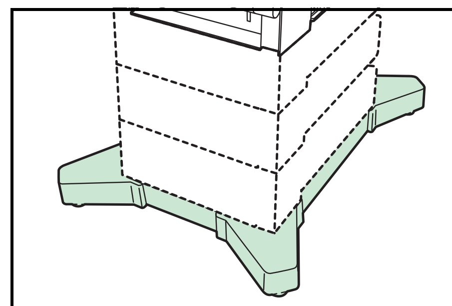
用紙サイズ：Envelope Monarch、Envelope #10、Envelope #9、Envelope #6、Envelope DL、Envelope C5、ISO A5、JIS B5、ISO B5、ISO A4、Executive、Letter、Legal、往復はがき、Oficio II、Statement、Folio、洋形 2 号、洋形 4 号、16K、Other（9.2 × 16.2cm ～ 21.6 × 35.6cm）

用紙種類：普通紙、プレ印刷紙、ラベル用紙、ボンド紙、再生紙、レターヘッド、カラー紙、パンチ済み用紙、封筒、はがき、コート紙、厚紙、カラー印刷用紙、カスタム１（～８）

ペーパーフィーダの取り付け手順については、ペーパーフィーダ付属の**インストールガイド**を参照してください。

注意：ペーパーフィーダは、据わりのよい机、置き台の上に設置し、安定を図ってお使いください。

置き台（CA-500）



オプションの**ペーパーフィーダ** PF-500（**普通紙用**）、PF-510（**多用途メディア用**）を接続しフロアに設置する場合、専用の置き台を機器の安定を図るためにお使いください。

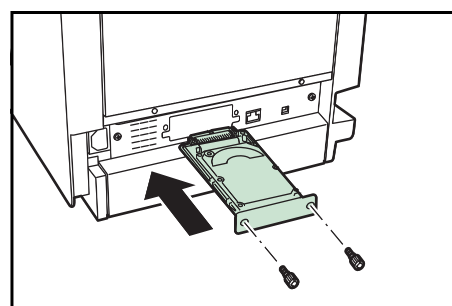
置き台の取り付け手順については、置き台付属の**インストールガイド**を参照してください。

注意：置き台の足につまずかないようご注意ください。

ハードディスク（HD-5/HD-5(A)）

注意：ハードディスクは、FS-C5300DN のみ装着することができます。

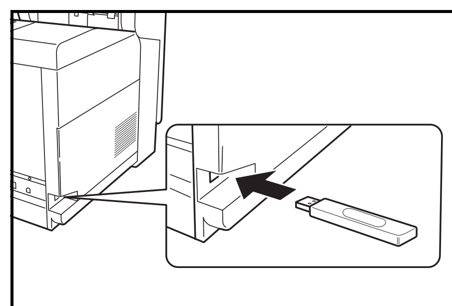
ハードディスクは印刷データの保存に使います。複数部印刷する時は、電子ソート機能で高速な印刷が可能になるなどのメリットがあります。また、Job Box 機能を使用する場合は、ハードディスクが必要です。



ハードディスクはプリンタの後側にあるハードウェア拡張スロットに装着します。装着後は、プリンタの操作パネルや KM-NET Viewer でフォーマットを行ってください。

ハードディスクをプリンタに装着する際は、プリンタの電源を切り、電源コードを抜いて行ってください。

USB メモリ



USB メモリは、USB メモリスロットに接続して使用する、持ち運びが簡単なフラッシュメモリです。USB メモリを本体に装着し、印刷したいファイル名を操作パネルから指定することで、ファイルを印刷できます。

表示されるファイル名は、PDF、TIFF、JPEG、XPS ファイルの場合です。

USB メモリが印刷できるファイル数は、最大 100 件です。ファイル名が半角英数字で 99 文字までのファイルであれば印刷できます。ただし、メッセージディスプレイには 12 文字までしか表示されないため、13 文字以上のファイルはメッセージディスプレイで識別できません。

ファイル名に漢字やひらがななどの 2 バイト文字が含まれていると、メッセージリストで 2 バイト文字が文字化けして表示されます。また、印刷を実行するとエラーメッセージが表示され、印刷ができません。

USB メモリ内の PDF ファイルを印刷する操作については、**使用説明書 応用編 2 操作パネル（USB メモリの操作）**を参照してください。

使用できる USB メモリについては、お買い上げの販売会社（あるいは保守・サービス会社)、または当社お客様相談室へお問い合わせください。電話番号は裏表紙を参照してください。

仕様

重要：本機の仕様は改良などのために予告なしに変更することがあります。

項目		仕様
印刷方式		レーザ露光方式乾式静電転写方式、 4 連タンデム中間転写方式
印刷速度	FS-C5200DN	A4：21 ページ / 分 Letter：23 ページ / 分
	FS-C5300DN	A4：26 ページ / 分 Letter：28 ページ / 分
両面印刷速度	FS-C5200DN	10.5 ページ / 分
	FS-C5300DN	A4 サイズ長（297 mm）以下：26 ページ / 分 A4 サイズ長（297 mm）超過：13 ページ / 分
解像度		600 dpi
ファーストプリント（A4、23 ℃、60%RH）	FS-C5200DN	カラーモード：約 12 秒以下 モノクロモード：約 10.5 秒以下
	FS-C5300DN	カラーモード：約 10.5 秒以下 モノクロモード：約 9 秒以下
ウォームアップ時間（22 ℃、60%RH）	FS-C5200DN	スリープから（3 時間以内）：25 秒以下 電源 ON から：約 44 秒以下
	FS-C5300DN	スリープから（3 時間以内）：30 秒以下 電源 ON から：約 36 秒以下
CPU	FS-C5200DN	PowerPC440（533 MHz）
	FS-C5300DN	PowerPC440（667MHz）
メインメモリ		256MB（最大 1280MB）
OS		Windows 2000/XP/Vista、Windows Server 2003、Mac OS 10.x
インタフェース	USB	Hi-Speed USB
	ネットワーク	プロトコルサポート：TCP/IP、TCP/IP(IPv6)、NetWare、IPP、SSL サーバ、AppleTalk
メモリカードスロット		1（コンパクトフラッシュ、4GB 以下）
最大印刷許容ページ枚数	FS-C5200DN	瞬間最大印字枚数：65,000 枚 / 月（標準 A4 普通紙）
		平均最大印字枚数：2,000 枚 / 月（標準 A4 普通紙）
	FS-C5300DN	瞬間最大印字枚数：100,000 枚 / 月（標準 A4 普通紙）
		平均最大印字枚数：3,000 枚 / 月（標準 A4 普通紙）
用紙サイズ	給紙カセット（本体）	Envelope C5、A6、A5、B5、ISO B5、A4、Executive、Letter、Legal、Custom、Oficio II、Statement、Folio、16K
	給紙カセット（オプション、ペーパーフィーダ＜PF-500、PF-510 ＞）	Envelope Monarch、Envelope #10、Envelope #9、Envelope #6、Envelope DL、Envelope C5、A5、B5、ISO B5、A4、Executive、Letter、Legal、Custom、往復はがき、Oficio II、Statement、Folio、洋形 2 号、洋形 4 号、16K

項目		仕様
	手差しトレイ	Envelope Monarch、Envelope #10、Envelope #9、Envelope #6、Envelope DL、Envelope C5、A6、B6、A5、B5、ISO B5、A4、Executive、Letter、Legal、Custom、はがき、往復はがき、Oficio II、Statement、Folio、洋形 2 号、洋形 4 号、16K
用紙種類†	給紙カセット（本体、オプション、ペーパーフィーダ＜PF-500 ＞）	普通紙、プレ印刷用紙、ボンド紙、再生紙、レターヘッド、カラー紙、パンチ済み用紙、カラー印刷用紙、カスタム 1（～ 8）
	給紙カセット（オプション、ペーパーフィーダ＜PF-510 ＞）	普通紙、プレ印刷用紙、ラベル用紙、ボンド紙、再生紙、レターヘッド、カラー紙、パンチ済み用紙、封筒、はがき、コート紙、厚紙、カラー印刷用紙、カスタム 1（～ 8）
	手差しトレイ	普通紙、OHP フィルム、プレ印刷用紙、ラベル用紙、ボンド紙、再生紙、薄紙、レターヘッド、カラー紙、パンチ済み用紙、封筒、はがき、コート紙、厚紙、カラー印刷用紙、カスタム 1（～ 8）
用紙容量	給紙カセット	500 枚
	手差しトレイ	150 枚
印刷不能領域		上下左右マージン 4 mm
排紙トレイ容量	上トレイ	250 枚（80 g/m²）
設置環境	温度	10 ～ 32.5 ℃
	湿度	15 ～ 80 %RH
	海抜	2,500 m 以下
	照度	1,500 lux 以下
電源		AC100 V、50/60 Hz
消費電力（FS-C5200DN）	最大消費電力	1153 W 以下
	通常使用時	426 W
	待機時	70 W
	スリープモード時	7 W
	電源オフ時	0 W
消費電力（FS-C5300DN）	最大消費電力	1318 W 以下
	通常使用時	499 W
	待機時	72 W
	スリープモード時	7 W
	電源オフ時	0 W
稼動音††	プリント時	53 dB（A）
	待機時	36 dB（A）
	スリープモード時	測定限界以下
外形寸法	本体	幅 345 ×高さ 518 ×奥行き 480 mm
質量	本体（FS-C5200DN）	29 kg（トナーコンテナを除く）
	本体（FS-C5300DN）	29.5 kg（トナーコンテナを除く）

† カスタム 1（～ 8）を使用する場合、10.5 × 14.8 センチより小さいサイズの用紙は手差しトレイをお使いください。手差しトレイは、7.0 × 13.8 センチ以上のサイズを使用することができます。

†† ISO7779 に準拠（バイスタンド位置、正面音圧レベル）

索引

Memo

Memo

印字品質を維持するため、京セラミタ・純正トナーコンテナの使用をお勧めします。

京セラミタ製品には、数々の品質検査をパスした純正トナーをご使用ください。
純正以外のトナーを使用した場合、故障の原因となることがあります。
純正トナー以外の使用により、不具合が生じた場合、保証期間内であっても責任を負いかねます。

QUALITY CERTIFICATE

この製品はすべての品質管理および最終検査に合格しました。

KYOCERA

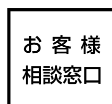
お客様相談窓口のご案内

京セラミタ製品についてのお問い合わせは、下記のナビダイヤルへご連絡ください。市内通話料金でご利用いただけます。

京セラミタ株式会社
京セラミタジャパン株式会社

〒103-0023　東京都中央区日本橋本町1-9-15

http://www.kyoceramita.co.jp





0570-046562

受付時間
● 9:00～17:00
（但し、土曜日、日曜日及び祝日は除く）

市内通話料金でご利用いただけます。

Rev. 1.1　2008.10

Printer in China　302HN56031